（第三種郵便物認可）

京城日報

○新河口事件重大ならず　陸軍當局者談

陸軍當局者は語りて曰く「朝陽坡事件（即ち新河口事件）に關し其の筋に達せる諸報告を綜合するに事實は電報の報ずる如く重大ならざるものゝ如く日支兩軍衝突の結果我軍に數十名の死傷者ありたる如く報ずるも其の筋には何等の死傷なしとの報告あり」

又支那兵が我が國旗を目懸けて發砲したりと傳へらるゝも是又確かなる報告に接せず又支那兵の發砲が故意に出でたるや無意識の發砲なるやも未だ詳報なし不日詳報到著し其の曲支那に在るの確報を得ば更めて支那政府に交渉すべきも目下の處にては面倒なる問題生ぜざるべしと（東京特電）

○希臘遂に起つか

米國某官邊に達せる私報は二日間以内には確かに希臘が起ちて獨墺に對し宣戰すべきを示せり（紐育電報）

○伊皇從弟公の剛勇　伊軍キロスベカルを占領す

羅馬來電に據れば、伊太利軍はキロスベカルを占領せり現皇帝の從弟たるアオスタ公は敵彈雨飛の間に立ちて親しく橋梁架設の工事を助力し驚くべき剛勇を示せり（倫敦電報）

○獨勃軍の兩地占領

獨逸公報に曰く、獨勃の侵入軍はツトウカン（ブカレストの東南約四十哩ダニウブ河南岸を占領し又勃軍はドブリツアを占領せり（紐育電報）

○蔡鍔來朝期

蔡鍔は黎總統より旅費一萬元を贈られ病氣療養の爲十二日上海より來朝の筈（大阪電報）

○軍司令官著釜

朝鮮駐剳軍司令官秋山中將は七日午後十一時釜山發列車にて京城に向ふ（釜山特電）

○金久保旅團長

第四十旅團長金久保少將は七日午前八時三十分過第三琴平丸にて釜山著午後零時三十分發列車にて大邱に向ふ（釜山特電）

○秋季釋奠執行

經學院秋季大祭は既記の如く七日午前九時より同院内に於て執行せり總督府よりは總督代理宇佐美長官以下小松翰長、秋山參事官、弓削學務課長、高橋武官等參列せり

◉總監茶菓饗應

山縣政務總監は八日午後三時より經學院副提學李容植子爵以下同院及各道講士一同を官邸に招待茶菓の饗應を爲す由總督府よりは宇佐美長官、小松翰長、秋山參事官、弓削學務課長、高橋武官等參列の筈なり

◉講士實地見學

秋季釋奠祭執行の爲め入京中なる各道講士一同は九日午前より實地見學を爲す筈なるが見學の個處は朝鮮銀行朝鮮ホテル京城郵便局及び朝鮮皮革會社なり

◉秋山軍司令官　八日午前著京

秋山駐剳軍司令官は出迎ひの爲め出張せる竹内高級副官並に東京より隨從せる安藤高級參謀野津副官を隨へ八日午前八時四十分龍山驛著急行列車にて公式に入京する事に確定せるが司令官著後既報の如く嚴肅なる入城儀式ありと

◉大邱旅團長著任

新任金久保大邱第四十旅團長は六日午後四時五十八分大邱著列車にて著任官民多數の出迎ありたり

◉和蘭武官入京

在本邦和蘭公使館附陸軍武官ローゼンダール大尉は朝鮮師旅團視察の爲め七日朝南大門驛著汽車にて入京朝鮮ホテルに少憩の上午前十時三十分總督府に山縣政務總監を訪問敬意を表せり同氏は近く羅南及び會寧に赴く筈なり

◉氏野檢事正へ弔詞

赤十字社特別社員たる海州地方法院檢事正氏野徳太郎氏の遭難逝去に對しては曩に赤十字愛國婦人會兩朝鮮本部長より弔電を發したるが六日の葬儀には特に花房本社長の弔詞を傳達したり

◉特別社員推薦

日本赤十字社成興支部中左記諸氏は今回本社の旨趣を協賛し各金二百圓宛を寄附せるに依り同社にては其の篤志に對し何れも特別社員に推薦せり

成南甲山郡惠山鎭　森正太郎
同　徳田乙松
同　橋本楠太郎

◉三島理事出張

朝鮮銀行理事三島太郎氏は平壌鎭南浦兩支店長更迭披露並に地方財況視察の爲め六日平南兩地に出張中なるが八日歸京すべし

◉豊永博士の療養

中央試驗所長豊永博士は本月一日より腸胃を害し森安博士村上病院長等の診察を受け目下自宅に療養中なるが漸次快方に向ひつゝありと

◉足立東拓殖産課長

東拓殖産課長足立丈次郎氏は令孃結婚の爲め客月東上三日歸京の筈なりしも東京に於て會社より殖産上に關する取調べ方を命ぜられ數日間滯留の事となり歸期は十日前後ならんと

◉江原翁歡迎會

貴族院議員江原素六氏は來る九日朝南大門著入京に付き在京城の東京麻布中學校同窓生は十日正午より朝鮮ホテルに於て歡迎會を開き食後二時迄談話會を催すべし參會希望者は電話一二二二日置政之介氏へ申込むべしと

七日夕刊

定價　紙價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五拾錢　三ヶ月金壹圓四拾五錢　六ヶ月金… 同七拾錢▲郵稅代用二割增

廣告料　▲五號活字一行金七拾錢▲雜報欄内一行金壹圓貳拾錢▲場所指定一行は二號活字… ▲三號活字… ▲六號活字の一行は五號活字同樣の事

發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　編輯… 營業… 振替貯金口座 京城三〇〇番

◉警察管内の改正

宣川警察署管内鐵山巡査駐在所は今般鐵山警察署となり鐵山車輦館李花浦三郡を管轄し朔州警察署長吉村警部署長に任命せらるゝ由なり而して朔州には憲兵分遣所を設置すべしと

◉警部試驗施行

各道警務部にては五六の兩日に亙り警部登用筆記試驗を行ひたるが京城にては京畿道及び總監部の兩試驗を併せて總監部に行ひ兩日午前八時より午後四時に亙りて施行し受驗者二十五名中四名の缺席者ありたるが本試驗の結果發表後更に口述試驗を行ふべしと

◉鮮米改良と仁川

最近の調査に依れば朝鮮米の相場は米穀檢査施行合に依り漸次向上し從前に比し高値を表はすに至れりし之れ各檢査地に在りて腐心して其改良進歩を促進したる爲め漸次内地米の値段と接觸したる事によるべく就中全羅南道に於て著しく此の傾向あり之れ農耕上の改善と前後し近時米種を選良したると乾燥又は調製上深甚の注意を拂ひたるに歸するは勿論なるが一方に於ては前年來作柄の良好なる亦其素因たるべし朝鮮米に就ては向後倍大に研鑽の餘地あるべく殊に乾燥の良否は米其者の品位に最も關係を有し黄熟期に刈取り複架式又は單架式地干式に乾燥せしむる等注意す可き事項又尠からず朝鮮に於ては之等の準備未だ充分ならざるが如く又農耕地に依りて灌漑貯水の便否等種々なる關係も在りて乾燥日數を一定し難き事情なきに非ざれども乾燥程度は内鮮殆んど同一程度に進みつゝあり而して改良したる朝鮮米は各地に於て銘市を有するは勿論乾燥調製に於ける注意如何に由ると雖も今日の如く前年來に比して進歩向上するに至りたるは要するに米穀檢査施行合の賜にして内地市場に於ける朝鮮各地の玄米相場は木浦上格十三圓五十錢同下格十二圓七十錢高千穂十三圓三十錢群山日本種十三圓同神力十二圓八十錢改良十二圓七十錢馬山改良十二圓七十錢河東改良十二圓四十錢仁川改良十二圓三十錢忠清改良十二圓三十錢釜山川口十二圓二十錢鎭南浦改良十一圓九十錢等なり然るに南浦米の振はざるは黄海道附近が昨年來凶作なるが爲めに外ならず仁川米の三四位と在るも此餘波を蒙むれるものにて必ずしも改良調製上の缺點に基くものにあらず併し米穀改良の事は一層注意を重ぬるを要すと當業者は語れり（仁川支局）

◉湖南浸水と米作

全北萬頃江及び東津江流域の全州古阜金堤各平野は頃日の連雨にて兩江出水氾濫の爲め數日に亙り浸水を受けし面積夥しく時恰も稻の開花時とて苗の腐蝕を來し其の受くる損害は少なからざるべく又全南榮山浦附近も浸水甚しき旨東拓本社に地方出張所より報告ありしと

◉浦鹽航路增線

山東の輸出旺盛の爲め芝罘青島方面より浦鹽に遡らるゝ果物其他の食料品並に往復苦力頗る多く朝鮮郵船の元山浦鹽航路のみにては航路數少なく船腹不足に付芝罘に本據を有する交通公司は他より船舶を傭入し九月五六日頃より元山浦鹽間に新航路を開始する事に略決定果所に通報ありしが北鮮海運界に一新面目を開くものと云ひ得べし尚ほ仁川芝罘間は朝郵及び阿波共同兩航路あるため現在の狀態にて船腹適當也と

◉京城商議總會

京城商業會議所は六日午後開會の役員會に於て前回の本會議に委員附託となりたる分科制度設置の件につき打合を爲したる上簡單なる規程を設け來る十二日午後二時より本會議を開會することゝなり七日夫々召集狀を發送したり該分科制度なるものは内地の三府其他主なる地方の商業會議所が既に採用せる制度にて商、工、金融、交通の各部に相當する調査事項の生じたる場合にありては先づ其々の部會を開き然る後役員會又は本會議に附すると云ふが如き制度なれば事務の進捗上一段の進歩を見るに至るべし

◉平壤商議役員

六日午後二時より平壤商議協議會を開催し平壤商業會議所庶務規程及び指定金庫の件及び職員給與令並に創立事務所職員解職書記長以下職員任命の件に付き討議し庶務規程及び職員給與金及び指定金庫の件は議決したるが書記長任命問題につきては協議纏らず約一週間後更に役員會議を開催し決定すべしと

○蒙軍を攻撃せず　張奉天督軍の方針

我が部隊は蒙軍を護送して六日午後一時豫定地點たる楊家城子に到著す張督軍は日本との關係を圖り交戰禁止區域外に於ても蒙軍を攻撃せず成るべく彼等を懷柔し解散せしむるの方針を執る事とせり（奉天特電）

◉浦鹽視察團出發

釜山商業會議所主催の浦鹽方面の視察團は愈々七日午後十一時發の急行列車にて元山に出で同地より朝郵平壤丸にて浦鹽に向ふ事に決したり

◉平壤と石炭

平壤に於て使用する石炭は撫順炭安州炭内地產豊國炭明治炭赤池炭等なるが其内最も勢力を有するものは撫順炭にして目下平壤在庫品二千五百噸價格一噸九圓五十錢にして重なる需用口は平壤鑛業所平電會社七七聯隊遂安金鑛發電所等なるが時局の影響を受け本年は船腹不足の結果内地炭は目下輸入せず安州の平壤在庫品は三百噸にして時價噸六圓五十錢標準なり而して撫順炭より品質を異にする處より販路又撫順と異なり主として市中のストーブ其他湯屋等の如く比較的一時に熱量を用せざる向に使用されつゝあり嚴冬の候ともなれば多少價格に於て撫順は擾動ある見込なり

◉北鮮より

▲成南鰲蔘の有望　成南地方特產物として支那方面に無限の販路を有し年々其の輸出額の增加しつゝある鰲蔘は藥用紅蔘代用品とし强壯劑に配合さるゝものにて成南に於ては主に永興、長津、甲山、定平各郡の高地帶なる山谷砂礫質乾燥地に產し平南寧遠郡附近にても生育す根形午蒡に酷似し莖は藜草形を成せる野生植物にして品質は支那地方產に比し稍々劣ると雖も價格低廉なるより從つて需求頗る廣範なるものあり故に斯業の獎勵上成南道廳に在りては目下鰲蔘を平地に試植せしめつゝあるが試驗の結果若し幸に野生物と何等相違なかりせば成南貿易品として將來益々有望なるは言を俟ざるなり因に昨年中元山港を經由し香港上海其他支那方面に輸出されたる鰲蔘の數量は九萬四千三百七十一斤價格九千二十七圓にして之を前年に比すれば數量に於て三萬八千七十六斤價格に於て二千五百卅圓何れも增加を示せり

▲甲山銅鑛の近況　久原鑛業所がコールブラス氏より買收したる甲山銅鑛は其の後久原技師等多數入り込み來り諸般の施設著々進行すると共に内地より回送の諸機械類は新浦及び城津の二路を經由し牛車を以て續々到著し居れば豫定の如く來る十月頃より銅の產出を見るに至るべし而して右製錬所の完成するまで久原鑛業所は鑛石を山路惠山鎭を經て鴨綠江を降し以て鎭南浦精錬所に向けん計畫なりしも水流路調査の結果鑛石を積載し鴨綠江を流下するは危險にして不可能なる爲め途に同方面よりの運搬は中止さるゝに至れり而して如上甲山銅鑛新設備に要する材料の運搬開始さるゝや甲山銅鑛より惠山鎭に通ずる要衝地點たる豊山郡邑を以て之れが中繼地たらしめたるが故に多數の關係者及び數百頭の牛馬等日々來往頻繁となり旅館の如きは忽ちに拂底を來し普通民家數十戶を旅館に充つるも尚ほ不便を感ずるの有樣にて實に同地としては空前の殷盛といふべく從て日用雜貨類は頓に需要を喚起するに至れりといふ

安東縣

▲堀技術局長　滿鐵技術局長堀三之助氏は線路巡視の途次六日午後五龍背驛著同地温泉場に一泊の上七日朝來安せり

▲一戶理學博士　一戶理學博士は南行の途次五日五龍背温泉に投宿六日夕刻安東驛通過朝鮮に向ふ

▲安東寺入佛式　淨土宗安東寺にては七日午後二時より善導大師及び圓光大師の入佛式を謹修し一般參詣人へ粗茶の供養を爲す可し

▲橫田主任出張　橫田滿鐵地方事務所主任は大連に於ける主任會議列席の爲め七日夜行列車にて出張

▲庭球團試合　安東滿鐵庭球團は來る十二日當地滿鐵コートに於て撫順遠征隊との對抗試合を爲す筈にて目下熱心練習中

▲渡邊專務歸安　本溪湖撫順各支店事務視察中なりし安東銀行專務取締役渡邊喜八郎氏は五日夕刻歸安せり

▲日蓮宗講演　當地日蓮宗布教所にては七日夜來安中なる日蓮宗大學教授文學士小根澤義山師外二氏の日蓮主義に關する講演ある筈

元山

▲鮮銀支店長更迭　朝鮮銀行元山支店長武川盛次氏は今回本店詰を命ぜられ本店營業局勤務中なりし久我清廣氏武川氏に代つて來任する事となり同時に次席安倍力氏も本店詰めを命ぜられたるも新たに後任者の來任を見ずして伊藤英利氏其後を襲ふ筈なり然るに武川氏は家事の都合上同行を辭し其郷里なる神戸に引揚ぐべく來十日出帆の小倉丸にて出發の筈

▲鮮魚輸送盛況　元山驛より客月中小荷物便にて各地に發送したる鮮魚の總高は七百六十八個七萬六千八百九十斤にして之れが運賃は八百七十三圓餘に達し昨年同期に於ける三百八十三個四萬七千七百二十三斤運賃五百四十五圓餘に比する時は非常なる增加を示せるが今其の仕向地を見るに南大門の四百五十五個を最多とし龍山、平康、漣川等之れに次ぎ鐵原の十六個を最少とす

▲持越酒檢査戶數　今回酒稅令實施に伴ひ元山府に於て係員總出にて管内酒釀造及び販賣業者の各戶に就き檢査を行へる際之れが檢査を受けたる釀造及び販賣業者の戶數を見るに内地人九十九戶朝鮮人三百六十九戶にして合計四百六十八戶に達し内釀造業者は内地人九戶朝鮮人二百四十三戶に及べり

▲清潔法施行延期　既報の如く五日より施行さるべかりし元山秋季大清潔法は天候及び準備の都合上來る十三日より十七日までの間に於て實施すべく決し從つて大小下水掃除も順次延期さるゝ事となれり

春川

▲實業組合と金融　春川實業組合は大正四年三月春川有志の發起により成立し組合員相互の金融を圖ると同時に毎月一日例會を開き向上發展に努め其の成績頗る良好にして既に五千圓に近き基金を運融しつゝあるを以て金融機關の不足を補ふ一端となり居れり

▲麟蹄蜂蜜の現狀　江原道物產の一として賞揚されつゝある麟蹄郡の蜂蜜は毎年李王職の御用となり品質最も優良なるを以て昨秋共進會に於て道賣店之れが販賣を試みたるに内外より多くの注文を受け豫期以上の好成績を占めたるが本年の新蜜集額は三萬四千斤に達し内二萬斤は個人の買約に應ずる由

▲秋山視學官來春　管下巡視中の秋山視學官は三日午後華川より來著秋野旅館に投宿の上目下開催中の各學校會議に臨席せり

▲柴崎中學校長來春　柴崎京城中學校長は江原道廳に於て開催の小學普通學校長會議臨場の爲め四日京春自動車にて來春旅館いろはに投宿

大田

▲大田乘降客　八月中乘客六千七百四十二人降車五千八百四人是れを前月に比する時は乘客九百六十五人降車十六人を增したり乘客增加原因は增若行き人員の增加に據るもの多しと

▲布教師來田　眞言宗高野山布教本部長久保觀雅僧正は管長代理として鮮滿布教の爲め特派せられ八九兩日大田布教の上湖南沿線に入り廿日頃入京の筈なりと

群山

▲客月米檢　群山米穀檢査所取扱に係る八月中に於ける輸移出米檢査狀況を聞くに檢査數量極めて少く總額一萬二千百三十八叺に過ずして等種別を示せば優等四千六百六十叺上格九十叺下格六千百二十一叺輸出禁止四百五十七叺莢雜物混入過多乾燥不良包裝不備の爲め不合格再調を命じたるもの六千五百七十八叺受檢人員三十八名にして重なる仕向地は大阪一千五百零二叺東京五百二十八叺仁川六千二百四十八叺等なりしと

▲金堤米檢　八月中に於ける米穀檢査出張所取扱に係る輸移出米檢査數量を聞くに一千零八十三叺全部普通等格にして仕向地は仁川八百七十七叺群山二百零六叺なりしと

大邱

▲龜尾驛開通期　京釜線金泉、若木驛間線路は愈々工事は昨年中既に竣成し本年六月開通の豫定なりしも滿鐵會社に注文せし鐵橋用鐵桁未著の爲め開通出來ざりしが昨今鐵桁も到著しつゝあれば直ちに架橋工事に著手し十月末迄には全線開通の見込なり同時に金烏山驛及び舊線は撤廢さるべく廢棄鐵道線路は土木局之を繼承して一等道路となすべし

▲大典記念物陳列場　慶尚北道在住鮮人有志より成れる建築費一萬餘圓の御即位記念物陳列場は寄附金も愈々纏りたれば大邱居留民團跡を敷地として近々工事に著手する筈にて本年中には竣工すべしと

▲兵營道路入札　京城釜山間一等線路中大邱兵營道路に當れる延長千四百八十間は來る十二日午前十時より慶北道廳に於て公入札に附する筈

▲鮮銀支店長辭任　今回本店詰を命ぜられたる鮮銀大邱支店長仙波正太郎氏は自己の都合により辭表を提出せり

▲春蠶繭實收高　本年の本道に於ける春蠶繭飼育戶數は四萬六千四百五十五戶査額一萬二千六百二十九石此價額約四十四萬圓にして前年に比し一割強の增收を見たりと

人事消息

▲立原榮安氏（我家）　入京中の處七日朝退京
▲齋藤彌兵衛氏（貿易商）　同上
▲ラウンドル氏（和蘭公使館附武官陸軍大尉）　七日朝入京朝鮮ホテルへ
▲高橋長秋氏（百三十銀行重役）　六日内地より釜山著大池旅館へ
▲武内榮喜氏（軍司部高級副官）　六日午後釜山著大池旅館へ
▲香椎源太郎氏（朝鮮瓦電會社長）　六日午前内地より歸釜
▲松井警視（鍾路署長）　六日夜内地より歸任

□國境より　文哉

鏡城にて　桑原道長官の御厄介に相成無佛兄の御晩し頻田したが御風引ならずば千萬也兩な日して會寧に向ふ途上一詩を得申候

早發鏡城向北關。僧峰名山勝岩山留影雨潜々。揚々遊子輕車上。經過米家圖畫間。

暗中七里の爵山嶺を越へて

輕車夕過茂山頭。廿五里程關北秋。忽認螢光三兩四。暗中指點會寧州。

丙辰八月工藤書記官國境巡遊之途次來宿余家因開小宴席上次玉韻　桑原生

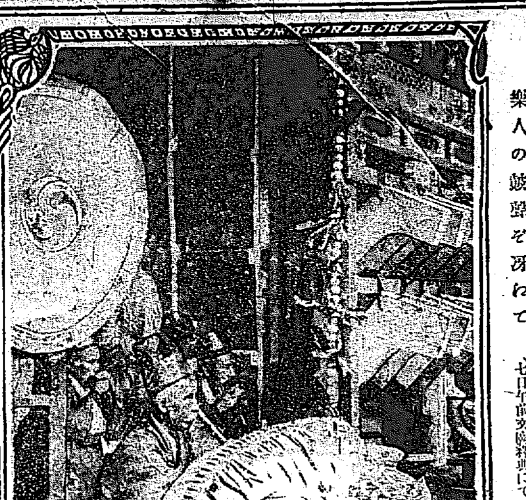
金風蕭颯馬方肥。滄海青山暮影微。醉後題詩酬遠客。一痕眉月照柴扉。』
翰墨風流有有緣。滿遊風指己過年。微才倘欲酬君國。一片機心賭末然。』
桂帆過鏡海。策馬渡刀江。送別秋千里。柳樓酒滿缸。』

贈工藤君

瀛山分手未經年。朔北迎君亦宿緣。月黑庭園蟲咽草。詩情酒味兩纏綿。』

○

五十八生瞬夢間。何時求得一身閑。不須臥遁遠浮世。靜悟禪機是閑寂。』



樂人の鼓鉦ぞ冴ゑて
七日午前文廟釋典にて

燎火白々と燃え立ちて
秋雨の日文廟に古聖賢を祭りつ
十三道の講士四拜する釋典の儀

東小門内文廟秋期釋奠は七日午前八時三十分より執行せられたり今回は前の大提學朴齊純子の後を襲ぎたる新大提學金允植子爵初獻官として第一回の奠禮を執行する筈なりしが恰も金子爵病氣の爲め副提學李容植氏初獻官代理として式典を執行され又寺内總督東上中の事とて宇佐美長官

總督代理として參拜

されたり此の日秋雨霏々として大銀杏の森に煙り講堂の庭には秀菊、秀蘭、悲雨に沾ひて境内蕭然として轉た秋冷の氣の迫れるを覺えしめたり燎火庭上の四方に燃ゆ午前八時三十分講堂傍の大鼓轟きて式奠の開始を告ぐるや各祭官、典樂工人、舞人、參拜人、大祝以下の諸執事、講士、獻官等式場に入り最後に總督代理宇佐美長官以下小松局長、高橋武官以下入りて各其の席に著き

掌樂員麾を擧ぐれば

祝聲起りて繼いで堂下に凝安の樂起るや庭前に八佾を執りたる黒帽赤衣の舞人三十六名烈文の舞を作す堂下の樂再び樂を爲して一同敬禮し堂下の樂は三度び成る初獻官此の時神位の前に詣りて跪坐すれば堂上の樂成安之譜起り庭上の舞人烈文の舞を作す此の間に獻官は爵を獻じ大祝官祝文を神前に朗讀す此の時堂上再び古雅素朴なる樂起る、式に

文舞退きて武舞進む

とありて庭上の舞人は黒帽を服して赤兜帽を被り文舞の具を捨て楯と鼓とを執り堂下舒安の樂に連れて武舞す此の間に亞獻禮、終獻禮、分獻禮、飲福禮添香禮等を終り當に堂上成安樂を爲し堂下凝安樂を爲し舞人武舞を進む總督代理以下參列高等官添香あり庭上に整列せる高等普通學校以下在京城各普通學校生徒

一同敬禮再び舒安の

樂に連れて京城府及び朝鮮十三道の講士十四人四拜し徹籩豆の事あり再び四拜し初獻官庭下に降り望燎に向つて祭文と幣帛とを燒き茲に全く式を終り諸員順次に退出せり堂上堂下炷香の煙棚引きて幽玄の氣境内に滿ち充ちたり

郭家店撤退の刹那
蒙古軍の軍容を見る＝長春にて伊月生

▲蒙軍も愈々郭家店を引揚げて其本陣歸駐の途に就いた其志を想へば痛ましい限りである約廿日間に亙り蒙軍の滯在した郭家店には恐らくは空前にして又絶後なるべき人の往來と金錢の出入とがあつた從來一寒村で人の名を知る者さへ少なかつた郭家店は此くて滿蒙開發史の上に不朽の名を刻み入れた

▲昨日全蒙軍の引揚げを一人〳〵見て居た記者は其兵が十歳から六十一歳迄に至る雜駁な者である事を親しく目擊し同時に其標悍に敬服した而かも十歳の小孩が馬上悠かに卷莨をくゆらして居たは稍や小面が憎い感があつた

▲新式軍隊の喇叭と同樣の要を爲す法螺貝は如何にも數世紀前の軍容其者を語る偶がある而かも其法螺貝は極めて小さな物で一と握り位より無いが各一小隊程に一人一つ宛持て居るのが蒙古の涯てしもない廣原の行軍に對照して一種可憐の趣がある

▲生活の簡易な蒙古人は朝起きると中位の茶呑茶碗に水を一杯入れ先づ口を嗽いで其嗽いだ水を掌に吐き出してガブ〳〵顔を拭て了ふ之で洗面と嗽口と併せ濟まして了ふといふ、構造の華奢で滿蒙の惡路行通に向かない砲車や衛生車は恐らく永い旅行には足手纏ひとなり全軍の行軍力を殺ぐ事であらふ惜しい事だ現に昨日も第一砲車の前車に故障が出來て三十分程行軍が遲れた

▲勤王軍に至ては大連方面から來た分約八百名は服裝も略ぼ一定し灰色の服に赤い帽を頂いて居た李樹林一派は出身が出身丈けに服裝も區々である大連組の服裝の一致は結構だがイザ銃器を携帶せぬ兵が澤山居たがイザ實際となつたら鐵砲なしでは心細いだらう又片つ端から斃れる戰友の銃を充の爲めの自分を顧みたら尚更心細からう

▲一時軍資缺乏の爲め副馬や廢馬を賣却する樣の噂もあつたがそんな事もなく全軍拔隊後殘つたは十何頭の馬と二頭の駱駝丈けで其又馬の附近には大勢の有象無象が群がつて居た

▲昨日蒙軍の拔隊後一時間を經つと已に支那の巡警や支那の娼婦がドシ〳〵支那町に入り込んで來た

虎列拉菌を發見せず
藤原幾太郎は檢鏡の結果陰性

疑似虎疫の疑ありて大邱隔離室へ收容中なる藤原幾太郎の病狀に就き其後慈惠醫院にて吐瀉物の顯微鏡檢査を行ひしに陰性にて遂に虎疫菌を發見するに至らざりしかば虎疫に非ざる事丈けは確實となりたれどなほ時節柄注意を要すとなり（大邱）

▲所謂歐羅巴虎列拉
時節柄警戒を要す

岡山縣生れ藤原幾太郎が京釜線列車中に於て疑似虎列拉に罹りたる爲め取敢へず大邱避病院に收容し患者と同船同車室の旅客一同は大邱に停留檢疫中なりし處同患者の糞便は六日午後總監部衛生課に到著檢鏡の結果コレラ菌を發見せず右は全くコレラの症狀に酷似せる歐羅巴コレラなる事判明し患者及び停留旅客は直ちに解放する事となりたり斯くの如き酷似症は歐洲に於ても屢々眞正コレラと誤られ旅客及び附近住民に一方ならぬ迷惑を及したる例は非常に多く今回大邱に於ける旅客の迷惑の如き例は止むを得ざるに出づるものなりと

線路浸水
列車不通となる

近來の豪雨に依る鐵道線路被害を聞くに京釜線釜山鎭間は七日午前四時半より築堤五六箇所崩壞し不通となりしも午前八時半頃開通の見込み夜府總督に電報あり畓田の浸水面積尠からざる見込なるもの、如し

三浪津密陽間は七日午前五時四十分より無月川橋梁土留石堤崩壞午前七時五十分復舊右の爲め釜山急行夜行は約三時間延發し馬山線は進永洛東江間昨六日午後四時より切取築堤崩壞數箇所に亙り第一七五列車より不通となり目下復舊工事中湖南線は鶴橋三郷間は七日六時四十分九山前川及び朴谷川橋梁裏流失初列車より不通となれり

隔離室にて思はぬ邂逅
其夜の混雜 列車に錠を下ろす

五日夜北行の釜山發急行列車中に發生したる疑似虎列拉患者は檢鏡の結果陰性と決定せるは時節柄悦ぶ可き限りなるが發見當時は列車内のこととて言へ虎列拉のため人心恟々たる折柄とて

▲一同の騷ぎ 方一方ならず當時居合せたる一乘客の談によれば大邱驛に著したるに時ならぬ騷々しさに目を醒せば自己の乘れる列車中に病者出でたりと蒲しめき合へるうちにはやドヤ〳〵と列車のドーアを開けて隣室に逃げゆくものさへありしかば列車は忽ち双方より錠を卸され乘客は果然たるのみなかには便通を催せし

▲婦人ありし もそれさへ便所に入るを許されず誠に氣の毒の狀態にて待居る事約二時間餘にて漸くプラットフォームに降車を許されしに又々一時間餘を經て愈々患者が疑似虎疫の疑あればとて錦座へ收容さるゝ事となりたるは早や已に東の空も白める頃なりきこゝに一場の物語は停留者中には

▲財嚢の缺乏 せるものもあり又は重大用務を帶びて行先を急げる人もあるなかに尾の道小學校教員吉林久吉は水原模範場に勤務しゐたる我子の訃音に接し是が葬儀に列する爲め心も空に渡鮮したる折しも今回の始末にて心ならずも森田旅館に停留を命ぜられたる事を水原に打電せしが水原より直ちに返電あり『亡き御子息の妻の父母も同じく錦座に停留されたれば訪ねられたし』と扨は

▲不幸中にも 偶然の邂逅かと古村は我亡き子の父母三浦幸助・同かんを錦座に訪ねたるに三浦は初對面の挨拶も涙の種今回の厄災の爲め我子等の葬儀の間にも合はざりしを憾みて共に手を執り涙に咽びけるは傍の見る目もいとゞ憐れに知らで一場の悲劇を演じける（大邱）

元大邱協成學校の教員强盜となる

昨電の如く大邱南町徐侑淳方に押入りしピストル强盜は共犯者と共に巧みに踪跡を晦ませしが大邱警察署にては二晝夜に亙り全く不眠の大活動により犯人の一人（共犯者搜索中なれば姓名略）が南町洪宙一方に潛伏しゐたるを突止め早速之を捕縛し其他嫌疑者四名同時に引致せしが記者の探知する所によれば此奴なか〳〵の曲者にて元は相當の位置にありしもの、如し彼は犯罪の當夜直ちに警察の警戒行き渡りたるを知るや何れへか高飛びせんとせしも降雨の爲に妨げられ躊躇したるうち捕縛を恐れ轉々知己の家を頼み隱れつゝ警察の目を遁れんとせしも天網の遁れ難きを感じてか窮餘の結果前記洪宙一方に警察の追捕急なるを以て隱匿方を頼みたる次第なるが洪は曾て大邱協成學校の教員をなせし者なれど性質良からざる爲め注意人物の一人と數へられ居るものにて調査の進むに從うて意外の事實顯はるやも圖り難けれど目下共犯人嚴探中なれば委細は後報に讓らん（大邱）

●忠淸南道出水

忠淸南道にては五日來の降雨に依り錦江、論山、南江出水し增水十六尺公州は對岸との交通杜絶せる旨六日

◆郵便を消毒するのは朝鮮ばかり

朝鮮の防疫關係當局が如何に周到に如何に嚴密に虎列拉の入鮮を防止せんとしつゝあるかは左の一例でも知る事が出來る吾々在鮮者は人事を盡せる其筋の處置に安んじて一任してよいと前置きしつゝ某郵政當局は語る、元來小包郵便中食料品などを包入してゐる者は今日のやうな場合に十分消毒の必要あるけれど普通郵便乃ち信書端書の如きは何等消毒の必要がない事になつてゐる、世界廣しと雖も普通郵便物を傳染病媒介の危險なりとして消毒する所は殆んど聞かない之れ過去に於て信書はがき等より傳染病の傳染を見た事がないからである唯一つ曾て西洋で或る手紙より痘瘡をうつした事があつた、然しそれも確實とは云はれない、所が最近朝鮮の防疫當局は普通郵便はがき等まで其の及ばざらん事を恐れつゝ嚴に消毒を行なひ萬全を期しつゝある恐らく其手配の行き届ける世界第一と云つても過言であるまい

●萬頃江增水廿尺
全州輕鐵運轉中止

四日以來降り續きたる雨今猶歇まず六日に至り遂に甚だしき出水を見萬頃江增水二十尺に達し稻作、家屋、道路、橋梁等の破壞流失少なからず全州里裡間輕便鐵道も亦運轉を中止せり（全州特電）

●漢江增水
正午迄二丈一尺

近日來の降雨にて漢江の增水甚だしく七日午前六時より同日午前十一時迄の增水狀況左の如し

△午前七時 十五尺二寸
△午前八時 十五尺六寸
△午前九時 十五尺八寸
△午前十時 十六尺一寸
△午前十一時 十二尺

讀者文藝（一等には五十錢の書籍券を呈す）

△一口噺

○甲『大阪で下女が築港へ投身して助けられて虎列拉になつたとさ』
乙『迂濶だな―豫防注射をしといて飛び込めばよかつたに』（一等） 龍山鐵道官舍 トンチン坊

△與樣『マーお犬の學校があるさうだよ』お鈴『先生もいろはを教へるに骨が折れましようね』 義州 松月生

△讀者『米國の鋼鐵王は一食が八圓だとさ』乙『オレの方が一圓上だな』讀者『ナゼ』乙『一食がクエン（九圓）』 淸州 古谷生

△客『昔は蛇になつて川を渡つた女がある』者『今は命になつて玄海を渡つて來ましたよ』 龍山 山家生

■課題及募集規定は欄外にあり

●大邱停留者全部解放さる

患者虎疫菌なき事確實となりたれば警務部は停留者の糞便檢査の中止をなさしめ六日午後七時停留者一同を解放せり（大邱）

■有樂館の活動寫眞■
彌々九月八日午後六時より開館日活會社特選の優秀寫眞を上場し尚自祝の爲當日に限り入場料各等半額
京城本町一丁目（百三十銀行横）
有樂館 電話二六六番

●電氣に觸れて即死す

七日午前十時三十分本町二丁目有樂館東側電柱にて京城電氣株式會社常傭人夫鮮人丁德化（三四）は電線切替工事に從事中電氣に觸れ即死せり

●尾を出した黒鼠

京城本町某呉服店に雇はれ中なりし大分縣東國東郡國東町字田深生れの松本玉次（二八）は昨年十二月頃より新町遊廓壽樓抱娼妓愛子事佐藤たみの色香に溺れ主家の目を偸みて縮緬掛襟二筋帶締め帶側浴衣地反物等を盗み出して敵娼愛子又は同樓仲居井上やすに與へ倚昨年九月より本年八月二十日頃迄に前後十數回に亙り主家の貯溜金中より約百圓を窃取して遊蕩したること發覺し本町署に引致取調べの上檢事局へ送らる

●盗んで遊興

高知縣吾川郡緒木村生れの松崎茂（二）は本年三月二十三日京城若草町高林某より金二十圓を騙取したるを手初めに外數名より衣類雜品自轉車等價格數十圓のものを盗み又は詐取して新町遊廓にて遊興消費し檢擧せられ京城地方法院にて懲役一年二箇月に處分さる

大正館の戰禍
降雨に拘らず初日大入滿員

懲くべき戰場の光景怖るべき戰敗の慘劇我國民たるもの決して對岸の火災視すべきものに非ず

●下女は曲者

岡山縣川上郡成羽町生れの富岡きみ（三）は權某の内緣の妻となり京城本町三丁目久米某方に下女奉公中同家の鏡臺抽斗より櫛外數點の髮飾品（十三圓）を窃取し本町署に檢擧せられ京城地方法院にて懲役三箇月の處分となる

●新小説發賣禁止

九月一日發行新小説第二十一號は九月特別號發賣頒分禁止せられたり

●八月中の傳染病 京城本町警察署管内に發生したる八月中の傳染病……

●連絡船上陸客 五日午前下……六日午前入港信濃川丸より上陸客 坪田俊八、田中ちよ、中村ふく外……

●暴風警報 九月七日午前九時……低氣壓位置……

■讀者文藝課題及募集規程
■募集規程 ▲用紙は端書又は同型の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外住所氏名明記の事▲賞品は……

天氣 曇り一時晴 ▲九月八日（七日午後六時發）

八月十二日（舊暦） 日出 六時 日入 ……

〈演藝案内〉

天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店 Mカシマ 朝鮮一手代理店
黃金館 電話一八五二（階上）二六三七（階下）
九月七日より特別大寫眞提供 ○實寫各國軍艦○諷刺喜劇凸坊の探險 ○赤西大活劇『快報』最長尺見るも嬉しき快報の報告……如何なる快報を齎すか
▲教育資料 ○教訓琵琶劇孝の德最長尺兒島旭洲琵琶……見よ人の親……人の子……可憐なる靜雄が孝……世界的名篇
▲大冒險大活劇第九『名金』第十七編第十八編……
▲連鎖劇『佐倉義民傳』全五巻……

日本活動寫眞株式會社特約
本町一丁目 有樂館 電話二六六
九月八日より特別大寫眞提供 ○實寫……○新派大悲劇『謎の子』……▲米國ルビン會社最近の傑作 大冒險大活劇『暗號書』……▲舊劇『酒井の太鼓』……

九月六日より上場
五月上旬於高輪御殿 賜台覽
戰禍 一萬呎
戶田式部長官命名
原名平和に於る戰の叫び
櫻井町 大正館

御成町 電話一一九一 御成座
革新派中村榮一行
第八十二回替り 一番目 須磨の仇浪 全十二場

日本活動株式會社朝鮮代理店 櫻井町 電話八七三 大正館

明治町 電話二六〇 浪花館
大阪女義太夫一座來る ▲九月九日より開場（出演連名）竹本廣久 竹本玉竹……

自宅職業 有料 資本不要
取扱代理店募集 大阪常盤會社

東京小松 ちの道

家傳 痔疾一切……東京京橋 小松盛林堂

長壽靈品は「ヨーグルト」 荒井の牛乳 京城若草町 荒井牛乳販賣部

古錢 いろは別古錢價格表定價廿錢 發行所 大阪松屋町博物北家村書店

京城葬儀社 株式會社 旭町一丁目（京城府認可） 電話一五六七番

●肋膜炎を病方に
●水がたまつて苦しむ人
●水がたまらなく苦しむ人

十人名合計六十六名なりしが殆ど內地人のみにして七月中に比較し赤痢稍增加の模樣あり一般注意を要すと

野田高十郎…右衛門、江頭末吉、宗正三郎、安見かま、三浦吾一、同よし子、山木寅雄、岡部東吉、副田清一、北野乙松、中谷竹三郎、三宅一郎、森田滋、子適の十六名

…(八名) 戶田茂里、田淵中大、高橋長秋、清水庄蔵、外人四名 二等(二十一名) 松田長次郎、末村寬道、王祖周、李錫根、池永四郎、白石悉二、永吉貫淵、同…定識、安部泰輔、松田安夫郎、竹宮しか、…郎、子邁、高林甲子郎、森田潔、井上勇一、松井信助、同久、三等(百七十七名)

△川柳卽題… 同十一日 同十二日 十錢書籍券を呈す(但作者…記に限る)
△物は付(前評なしのは…) 同十二日 同十三日
△次回一口噺題… 同十三日 同十四日

◎大陸に發展せる 若き婦人

△京城高女卒業生

△今年で第八回の卒業式を行ひ總數四百六十二名の卒業生を出した京城女學校は以前では大陸の最北に位する女學校であつた

△將來大陸に發展すべき日本男子の內助者として植民地に最も古くから設けられた京城高等女學校卒業生が今如何なる地方に分布して居るかこれは面白い問題である

△これを統計に見るに卒業生の內地にあるもの九十一名、朝鮮に在るもの三百四十七名、支那にあるもの六名の割合である

△內地はその三分の一以上東京に居るのは家族と共に歸國した人達及び遊學した爲めでこれを見ても京城と東京との密接な關係が分る

△次ぎに朝鮮にある三百四十七名は北は咸北、平北から南は濟州島迄まで殆んど朝鮮全土に分布して居る

△それ等は主は家族と共に分布したのであるがまた女學校、小學校、幼稚園等に就職したものも尠なくない

△支那はハルビンから奉天、天津、上海まで方々に居る、兎に角教育ある婦人の大陸に進むとは國家の爲めに慶賀すべきことである。

皮膚の手入は今

冬になると子供や若い女中の手や耳は凍傷を起し易いが、之れは初秋の間から注意すれば何でもない、最も良法はオリーブ油十匁の中へ、樟腦一匁を入れて大人の使ふ化粧水のやうにして、極少し手に滴し、手で充分摩つて、其手で凍傷の出來る局部を能く擦つて置く、斯うすれば再び苦しむ憂がない、又子供は皮膚が薄い故外氣の刺戟を受け易いから、少し寒いなと思ふと、顔が美しい林檎のやうに赤くなる、此癖を直して置かぬと、大きくなつて赤頸や紫頸になつて見にくゝなる、冷氣に向つたら顔に油を塗つておやりなさい、之で充分豫防が出來ます、秋は皮膚が乾いて浮脂が立ち易い、浮脂は髮の根を傷けるから良い油を塗つて梳く、年頃の娘さんばかりでなく、小學校へ通ふ子供でも矢張り髮は大切にしないと大きくなつて困ります、お下げだから著物が汚れる抔といふのは眞實に子供を可愛がるのではありません

コスモスの矮作り

コスモスは秋の氣分を代表する花である、插根に當ふて抽ん出て咲き出した時、澄み渡つた碧天に反映して、其のすがすがしさ云ふ許りなしであ る、けれども一長あれば一短あり、餘りに丈延び、丈延びる割りに脆弱く、一度野分を受くると忽ち顛倒し、仆れながら頭を持ち上げる醜態は蛇の野多打つ樣にも似て實に見苦しいものである、處がコスモスの頭を二寸でも三寸でも切り取つて此頃から挿し木にして置くと容易に付く、そして花莖であるから丈が延びずに直ぐ咲く、斯うすれば小さい鉢植が出來る、深山插せばコスモスの小さき植込が出來る譯である、其から序に記すが此の式に菊の頭を挿して置くと冬に入つて小さなから花がつく、豆菊の一盤に深山挿したら正月の氣取つた飾盆栽が出來る

◎百數十年を經た懸崖の松

『それに野生の春蘭を御覽なさい』

◇鐵道局組田通譯官の宅は南大門驛前大屋長官々邸の裏手にある◇主人はきれいな庭を見晴した客間で、頻りに鈴蟲をなめて居た◇机の上には、支那人のかいた南宗畫の手本と主人の手になる竹の繪があつた、主人はまた毒舌もなく〳〵堪能である◇皖のやうな線先を描て落葉松や白樺の植ゑられた庭はこれも主人の趣味によりて、如何にも風流に作られてある◇『落葉松や白樺は私のやうな南國の者には洵に興味深く眺められます』と主人は皆笑ながらつゝ、庭を見渡す◇庭にはまた二三十に餘る見事な盆栽がならべられてある◇主人の曰く、盆栽では松が一番むづかしい、此の懸崖の松を御覽なさい、これは私の自慢ものだが、確かに百數十年は經つて居ります◇採集したのは京元線の東豆川に近い逍遙山中ですが、先づこんなのは珍らしいと思ふ◇此の蘭は湖南線の白羊山で採つた野生の春蘭ですが內地の人の賞美するのは主に蕙といふ花莖のあるものですが、文人は主に此の春蘭の方を愛好します◇それに此の黒竹は、毎年秋に落葉して早春また新芽を出しますから、朝鮮では常に新葉が見られます◇私は十年ばかり前からやつて居ますが以前は落着きがなくてなか〳〵やれませんでした◇悠々盆栽を眺めるたのしみ!!これも併合のお蔭ですかね

神社とお寺と教會

◎協同傳道講師宿所 京城各教會聯合の協同傳道の爲入京したる講師の宿所左の如し
江原素六氏(大和町二、三井方)笹尾粂太郎氏(南米倉町渡邊方)綱無文治氏(西大門丹羽方)釘宮辰生氏(旭町二藤岡方)宮崎小八郎氏(長谷川町井口方)

◎平壤高女新長任命 平壤公立高等女學校長心得たりし同校教諭の上野直記氏は去る四日附を以て同校々長兼教諭に任じ高等官八等に敘せられたり

◎山形訓導歸校 豫て內地旅行中なりし日出小學校訓導山形氏は六日歸校せり

○龍山日本基督教會(漢江通) 七日午後八時より協同傳道說教會開催牧師綱無文治氏の『道德的基督教の神觀』及び農學士大島正健氏の『道德の根本』あり尚ほ八日は午後八時より牧師宮崎小八郎氏の『感謝の生涯』及び高井文學士の『然り〳〵否な〳〵』あり、十日は午前十時より釘宮牧師の禮拜說教あり

○メソヂスト教會 八日午後八時より南大門通監理教會にて釘宮牧師の說話あり

○龍山天理教會(說町) 七日午後八時より婦人會ある由

○京城基督教會(南米倉町) 八日午後八時より協同傳道說教者は笹尾牧師

○日本基督教會(長谷川町) 八日午後八時より協同傳道東亞學院教授笹尾粂太郎氏の說教あり

○京城美以教會(南大門通) 八日午後八時より協同傳道釘宮牧師の說教あり同教會は會堂目下新築中なるため南大門通り三丁目鮮人教會にて臨時說教場を設けたりき

―△會のいろ〳〵▽―

▢高女講演會 京城高等女學校より今夏京都大學の夏季講習會に出席せし渡邊、采女、兩教諭の報告會は來る九日(土曜日)午後一時より開催、渡邊教諭の『假名に就て』及び采女教諭の『民族的教育學』教育學生學の講演あるべく一般教育關係者の傍聽を歡迎する由

▢國文研究會 京城高等女學校職員間に設けられたる國文研究會は毎週土曜日第一回開催、成田校長の萬葉集講義あり尚ほ第二回は來る十九日開催坪內教諭の講演あるべしと

▢協同傳道演說會(壽座) 九日十日の兩日午後八時より各教會聯合演說會を開き江原素六、宮崎小八郎、笹尾粂太郎、釘宮辰生諸氏の演說ある由

たいどころ その日〳〵

△さつま煎り(小供のおやつ)さつま芋の皮をむきて四分四角位に切りて水につけ置き米を洗ひて水氣を乾かして狐色位にこがして置き小豆をやわらかに煮たるものを煮汁を別器にすたみて前の品々と一所に深い鍋叉釜にてもよし其中に入れ砂糖を加へて二三回かきまぜ砂糖が水分になりて品々とすれ〳〵位になりたら御飯をたく樣にしてたき芋が柔へるを度として釜を卸してむらし置きて器に盛る分料は小豆二合米七勺半百目砂糖半斤塩二勺位の割合にてよし(菁木はつ子)

宮本武藏

第百五十二回 桃川如燕口演 浪上義三郎速記

琵琶法師貞巳こと葉塚忠右衛門定興、豫て知つたる忠重の寢所、襖を開けて座敷へ入り、樣子を見れば天の助けか、生駒宮內大輔忠重前後も知らず高鼾き、枕許へ突立つたる忠右衛門、寢て居る者を切るは死人を殺すに同じと大音揚げたる事にして『眞アイヤ宮內大輔忠重能つく承はれ先年大阪落城の時、汝の手に懸つて相果てたる布施屋飛彈守の孫、葉塚忠右衛門定興、祖父の恨みを晴さんため、琵琶法師と姿を變へ、今晚此所に乘込んだり、イザ尋常に立上つて勝負いたせ』と呼はつた之を聞いて宮內大輔忠重大きに驚き『さては曲者』と一聲飛起き樣に枕許なる一刀を取らんとする、途端に忠右衛門、一足踏込んで切下ろした一刀、忠重の肩先より血煙諸共バラリズンと二三寸割付けた、アツと後ろへ反返るを乘懸つて怨ちの中に首打落し、髻を取つて首を引下げ此所を立退かうといふ所に物音を聞いて近臣野田兵作に名島三平、雪洞を持つて駈來つた、出會頭に首を引提げ血刀を取つて突立つた忠右衛門の姿を一目見るより吃驚いて『さては曲者』と雪洞を投付け腰の刀へ手を懸けやうといふ時に、飛込んで來た忠右衛門、兵作の眞向から割付けたキヤツといつて倒れる、途端に名島が一刀振翳して切つて懸るのを引外し、手許へ飛込んで橫に拂つた一刀、健かに切付けましたからアツと一聲後ろへ倒れる、此物音に驚ろいて高橋典膳といふ家來が槍を取つて飛出して來たのを大袈裟に打放し、其儘庭に躍り出で、蛙の池へ飛込む、城內俄かに騷ぎ立ち『ソレ曲者が忍び入つた、其處だ此處だ』と口々に呼ばつた得物々々を押取り東西に驅廻る、其內忠右衛門は遂に水門を打破つて外濠へ泳ぎ出し、忠重の首は途中へ捨て其儘播州三日月へ立戻りましたが、跡の騷ぎは大變で、殿樣が首を失くなしたと上を下への騷動、異逆琵琶法師が忍び込んで殿樣の首を取つて何處かへ往つて了つたとは言へませんから、急病にて卒去したと云ふ事にして公儀は無事に濟みましたが什麼も大名でも町人でも一度惡るい事があるとする事なす事不可ないもので後寬永七年になつて遂に六萬石生駒家は斷絶いたしました、是から葉塚忠右衛門は一旦三日月へ立歸り、都近くでは世を忍ぶに工合が惡いといふ所から、弟の忠兵衛倅左內の三人、肥前天草へ引移つて茲に足を止め忠兵衛は忠太夫と名を改め親子兄弟漁業をして朝夕の煙りを立て居る、兎角する中に年押移つて寬永十四年、葉塚忠右衛門六十二歲、弟忠太夫五十六歲、倅左內二十七歲と相成つた、何か世の中に變があつたら其隙に乘じて德川家へ恨みの矢を放たうと其ればかり考へて居ります、丁度七月の中旬忠右衛門父子小舟に打乘りまして相變らず漁業に出ましたが今日は大分潮が惡くてトンと漁がないから天草の西に一つの小島がある、之に舟を著けまして陸に上り、枯木を集め焚火をして、持つて來た割籠の飯を認め干魚などを焙つて父子で食べて居たするといふ向うの岩角に一人の老人が座して釣を垂れて居たが何思ひけん釣竿を捨て、腕拱いて四方の海を眺めて居る樣子、忠右衛門父子はハテ遂に見馴れぬ老人であるが何人であるか第一釣を捨て海を眺めて居る不思議な翁もあるものと目も放たず見詰めて居りましたが其中太陽西の空に傾くと等しく海上忽ち紅色と變じ、宛然紅を絞りし大甕を覆へしたる如く凄まじきばかりの有樣、東西の天を見渡せば涯しもなき大海原、水や空、空や水とも分かぬまで皆一面の唐紅、傳へ聞く咸陽宮の烟りの中も斯くやあらんと思はれて葉塚父子は只茫然と四方を眺めて居る中に、件の老翁忽ち橫手を磕と拍つて『アヽ時なるかな〳〵、伴天連ヒヤシヱルが我國を去つて三十六年、時恰も秋の初に當つて大海俄に赤色と變じたるは、天帝如來の教法再興すべき時至れるものか喜ばしとも喜ばし』と我を忘れて老人が躍り上つて打喜こぶ樣子

入院隨意 京城南大門通三丁目(藤本商店橫入る) 胃腸病院 電話一六五九番 院主 佐々木杏造

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科 院長 安部修三 京城永樂町二丁目金光教會隣 安部醫院 電話四一九番

九月九日 九星 舊八月十二日 己巳 四綠 本命三碧 東 建 先勝

▲三碧 手持不沙汰の事有る日新事見合はせ… ▲四綠 … ▲五黃 … ▲六白 … ▲七赤 … ▲八白 … ▲九紫 … ▲一白 … ▲二黑 …(吉凶細字不明)

商況

東京株式特電

三十日前場寄付 大引

	前場寄付	大引
日本郵船	—	—
京城電氣	—	—
鐘淵紡績	—	—
同新	—	—
日本麥酒	—	—
東株	—	—
東新第一	—	—
東新第二	—	—

諸株弁騰す

債券現物特電

二日出來値段(前日との比較)

	値段	比較
東洋拓殖	—	—
京城電氣	—	—
朝鮮銀行	—	—
朝鮮殖産	—	—
南滿鐵道	—	—

公債直取引 東京特電

六日出値段(前日との比較)

	値段	比較
五分特別	八八、〇〇	—
五分公債	八二、八〇	—
一回四分	—	—
二回四分	—	—
甲號五分	—	—

深川在米特電

六日現在高	
朝鮮米	三四、四四二
臺灣米	六三、八二六
內地米	一、五九二、〇四五

東京期米特電

六日	前場 十一月限	後場
寄付	一五、四八	—
高値	一五、五〇	—
安値	一五、三六	—
止め	一五、四三	—

大阪株式特電

銘柄	拂込	六日後場止値	七日前場
宇治川水電	五〇、〇〇	一九、五〇	一九、八〇
神戶電鐵	五〇、〇〇	[illegible]	[illegible]
京阪電車	五〇、〇〇	[illegible]	[illegible]
阪神電車	五〇、〇〇	[illegible]	[illegible]
南海鐵道	五〇、〇〇	[illegible]	[illegible]
同新株	五〇、〇〇	[illegible]	[illegible]
合同紡績	五〇、〇〇	[illegible]	[illegible]
鐘紡	五〇、〇〇	[illegible]	[illegible]
大阪商船	五〇、〇〇	[illegible]	[illegible]
同新	五〇、〇〇	[illegible]	[illegible]
東洋紡	五〇、〇〇	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電

六日後場 七日前場 (細字不明)

大阪期米特電

七日前場

	八月限	九月限	十月限	十一月限	十二月限	一月限
寄付	一五、一五〇	一五、一一〇	一五、〇七〇	一五、〇四〇	一五、〇八〇	[illegible]
引け	一五、一二〇	一五、〇九〇	一五、〇九〇	一五、〇七〇	一五、〇九〇	一五、〇八〇

下關期米特電

六日前場	寄付
當限	一四、七六
中限	一五、一九
先限	一五、三八

止め

雜報

七日前場	當限	中限	先限
寄付	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]	[illegible]

之し釜山方面に新米吸引せらる

自然吸引せらる事なきや當地の如きは或は之が影響によりて却つて原料に苦しむ事なきを保せずとの觀測と行はれ居れり

◎眞綿は昂騰 生絲の好況に

兎角不安の鋭行を呈しつゝありたる本品は原料に拂底を來し最近に至り俄然相場の昂騰を演じ內地市場よりは別撰入金の十二圓高を始め上々入金の十圓高を唱へ入金の七圓高を始め上々入金の廿圓高を報じ越せり本年は産地に於ける夏の出來榮頗る好く而も生絲市場の活況に原料は多く製糸方面に吸收せられたるに朝鮮紡績も輸出旺盛を極めたる以て此の方面にも飽からず吸引せられて更に一段の窮迫を告げたる模樣なるのみならず本品類の生産勞働者も生絲方面に從事するを得策とさせるより生産は遲々として進まず出廻り思はしからざる結果斯る現象を呈するに至りたるが往年生絲の奔騰せし場合には三百圓臺を突破せし事もあれば需要期に入ると共に更に昂騰すべき氣配を呈し居れり

◎綿絲更に不勢

高と株式界の活況等に刺戟せられて新高値に奔騰せし綿絲も其後反動を呼び不勢に變じザリ〳〵安値に落込み今前場は當限の外鞘で一圓割れを見せたり六日の米棉は四十五錢安なりしやに傳へ居れり

◎精米引締る 精白米の地場卸値は前月初旬の十六圓を最高として鮮米正米の漸落に連れ最近現金賣の十五圓一二十錢處迄引下げしが此處再び原料相場の引締めと賣物稀薄に漸く氣直り模樣を呈し普通卸値は四十錢の鞘へと十五圓三

◎平板益々強硬 鉛亞

板の値上げは昨報の如くなるが其內にも平板は殊に強硬の成行きを示し遠からず二圓近かく實現すべしと一般小賣筋は品薄に悚つて大に買進ぶり居れり

下關相場

▲朝鮮白米は不昧 其後の出廻り多からずと雖も何分割高なる折柄とて只管買人の手控へ居る爲め昨今賣れ行きの鈍情なる爲め米主の中には沸々成行きに任せ手放し居る向きの有之現情さて其後市況面白からず一等白米口々な合せ百二三十叺許りは十五圓四十錢より五十錢處に手合せ行はれ其他眞の小口取組は左の通りにて入著したるは百六十八叺なり

▲小豆は依然不昧 本品は其後別に賣り急ぎ物あらずと雖も前報の如き事情の下に兎角買氣の進まざる爲め市況面白からず北海産の上五等品七十俵許りは十二圓八十錢に手合せ行はれたり

▲大豆は先づ保合 本品は屢々報ずるが如き事情の下に一般前途安見越しに依れる手兎に角買人の高値に…まざるに保り矢張市況面白からずと雖もまた其後の出廻り多からぬと產地の模樣の比較上不引合を唱へ各野主の安くは投げ出し兼ねたる風情ゆへ前報と別に大した相場の高低なく依然として元山物の上百叺許りは十四圓六十錢迄弗々の出來あり叺の上品百叺許りは十一錢其他の輸入は左の通りにて其後…

▲朝鮮一等白米(當用) 十五圓四十錢
▲同 十五圓五十錢
▲同 十五圓六十錢
▲同二等白米(當用) 十五圓三十錢
△元山大豆 十四圓六十五錢

京城正米

實物稀薄の折柄雨天續きの爲め地場物は商談運ばず氣配は昨今僅以來更に高模樣なり唱へは神力十三圓七十錢上物十二圓六十錢今十二圓五十錢見當に四錢乃至賣ぶりの賣な精米筋は前記値段にては現下の精白値段より採算引合はざれば此處再び地方に意を向け初めたるもの如し場所によりては幾分割安に買附得らるゝ模樣なれば既先弗々廻著を見るならん

京城雜穀

小麥及び胡麻は大體に賣行き鈍狀にして赤小豆又賣物相當あるも買望み少なく其他一般に雨天續にて商內行はれず氣配も相變らずなり

南大門の廻穀

鳥山白米二七叺、大田玄米二七叺…

地場正米の前途

地場正米は別項の如き事情にて昨今地方割安場所を狙ひつゝ弗々商談を進めつゝあるが頃日來の降雨にて全羅及び忠淸道方面は又々出水し田畑の浸水せし箇所少なからざる模樣にて此處稻作上大事の時期に當り近來兎角天候の不良勝にあるは元より作柄に好影響を與ふべき筈なく而かも今尙天候所定の機に至らず發風の警報さへ解かれざれば

配傳へ地方正米も高氣

迄報へ居れる筈割安地の何時間なり著し此擧地方相場の漸騰を見る事あらば地廻り物强硬の際高地正米氣配も餘儀なく今一段高値に運る可からず昨今の不良天候が稻作に對する影響の程度は知るを得ざるも現今南鮮地方の殘存米より推測すれば新米出廻り期迄は容易に相場の下落あるべしとも思はれず例年秋陣時期の遲るべき全羅道地方には昨今尙相當在米の潤澤なるべき者なるも本年は疾くより持米拂底を唱へられ居れり

新米出端

場には…

又復警報

前日來の降雨も今朝來時々日光を洩らしたるも曇天にて未だ冴へず尙危險狀態なる不安を感じ居たるが果然仁川觀測所は午前九時三十分發にて警報を發し全道に亙つて風雨強かるべしと警戒したり

方へ六千餘石㊂④各八千餘石⑳三千餘石の二千餘石兮千餘石等に對し賣方④八千餘石㊁〆各三千餘石㊀〇各二千餘石兮㊀等⊖各千餘石等にて他は小口商內であつた

▲底意強硬 悪天候の襲來に

全羅忠淸各地に水害ありとの報ある上に天候の回復せず正米界又強人氣を傳へたる爲め

先強村料多きし大阪入電は天候續いて良好明八日の白露も無難を見越したる者なるが下寄筋瓦落を報じたるも當地は存外下げ澁りの場面にて前日の不勢軟節なりしに引替へ強硬下げ澁りの場面と化したるは是必竟前日の如き材料の突發にて賣方の警戒し安値は追はず寧しろ小掬ひ的に喰び返かん振りるさな合

多押目は新期買物

大阪の不勢に拘らず斯る成行にて寧ろ人氣の上に一變化を來したるは此傾向なきか大に注意を要する者あらん

▲㊁續て賣る

前昨後場能く賣る同店は今前場も引續き賣りたる玉數六千餘石の賣りたるも大に市場の注目を惹いたり

▲㋑大に買ふ

昨後場も買ひたる同店は引續き今前場も大に買ひたりとの事一面三千餘石に上りたりとの事一面四千餘石の買ありたるも大に注目を惹いたり

▲㋣の大商內

今前場同店より賣りたる玉數四千餘石に上りたりとの事なるが一面三千餘石の買あり

▲㊐の賣り

今前場同店より小口ながら總へず賣りたる玉數三千餘石に上りたりとの事一面小千石の買あり

▲今筋見送る

…主力同筋は其後見送りの態度にて目先小掬ひ商內のみに耽り居るは未だ乘ずるの機會なき爲めならんと思はれたるも稍目立ちたり

▲邑筋見送る

昨後場大に買建てたる同筋は今前大阪の不勢なるに依る爲めなるか前場は見送り居りたるが尙二千餘石の買建てを爲したり今後の動靜大に見るべき者あらん

▲無事と有事

此處大阪入電は日々晴天を報じ天災期に際し無事に八日の白露も無事なるべく一方には…厄日の一たる明八日の白露も己に無難

を見越したるの如き當地は頗ぶる有事にて大天災期に入つての天候は一日快晴二日薄曇三日暴風雨四日曇天五日雨六日雨七日小雨後曇天にて頗ぶる不良の天候にて稻作上に惡影響を與ふるなきかとの懸念…

仁川現物市場

平澤玄米七八叺 後館白米二九八叺 開城胡麻四八叺 南浦大麥二八九叺 中和粿麥三〇叺 仁川胡麻一一七叺

△籾入津なし

△正米同斷氣配は當用口の買望みと京城の商氣配を受けて強人氣を唱へ居るも降雨續きにて商談捗々敷からず

△小麥入津なし

釜山穀物市場 六日

▲正米(保合) 買人は依然精米筋のみにして他には更に買人なく出廻は相變らず相應にあり賣り物乏しからず本日は各精米所とも多少白米の注文ありし樣子にて一寸買ひ過ぎしも高値は決して買ひ入れず只値頃物の割安品のみを買ひ漁ひの姿にて氣配變らず保合なり

▲大豆 捗々敷取引もなく氣配保合の前狀なり

釜山 三巳仲買店 電話…

合計二千二百廿三個

中白	百二個
玄米	一千八百七十二個
大豆	百七十四個
新大豆	七十五個

生魚市場

天候の不良に各地共に不漁を傳へ本日は廻著頗る少なし殊に元山方面は非常の時化なりとかにて同地の物は皆無なり從つて相場も鯛を初め總て高模樣を呈せり

タイ三〇、サクラ一八、スヽキ一四、ヤツ八、ハモ八、アナゴ一五

仁川期米

▲七日前場 兵庫前場寄十五圓三十六錢 ◎大阪天候晴天 前場寄十五圓三十八錢と前止より九錢安の入電

二節三十四錢と小安き移り

にて當地當五節に至り○五錢より六錢と上げ五錢引先十二圓七十六錢と六錢安に寄付たるも買物多くザリ〳〵八十錢丁度と返したるが大阪三節三十一錢と前小甘き移りに賣物現はれ七十五錢と押したるも押目は依然買氣多く八錢と返して保合居りたる折柄

大阪九節三十錢止二十五錢と漸落を移

して賣物多く再び五錢と押し六錢と保合の裡に下げ澁りの成行を示して散會

▲七日前場 當限⊖十二圓九十五錢 出來高五十石
▲中限⊖十三圓〆五錢六錢五錢六錢 平均値段⊖〆五錢㊁〆五錢㊃〆五錢㊃〆五錢出來高四千八百五十石
▲先限⊖十二圓七十六錢七錢八錢九錢八十錢七十九錢⊖七十九錢八錢七…

市場雜聞

▲保合下げ澁る

前日來の降雨漸く小雨となり時々日光を洩したるも未だ晴天に至らず觀測所は又復警報を發したる等未だ安心すべからざる事情あれど大阪入電は下寄なりし爲め當地も鮮米の降雨續きにて十二圓七十五錢と寄付たるも買物多く再び六錢と返したる程度にて弗々保合

▲鞘寄せ乎

前項の如き場合にて時大阪と二圓七十四五錢と逆鞘にてたる鞘も追々縮少して今前場には又復逆鞘二圓五十錢內外と逆縮少するに至れり

▲取組減少す

急激七萬石に上りたる大取組を見たるも昨日前場にて七千餘石を減じたるが昨日後場より解商內多かりし爲め尙幾分減少せんとの噂あり果して如何

▲前場の手振

重なる商內賣…

暴風警報を發

觀測所にては…

◎迅速 確實 仁川海岸町 取引所仲買人 廣澤正次郎 電話一六五番 六三二番

(定期米賣買委託御引受致候)

仁川米豆取引所

七日の十一月限

前場	
寄付	十二圓七十六錢
止め	十二圓七十六錢
高値	十二圓八十錢
安値	十二圓七十五錢
出來	二萬三千五十石

平均値段	
一節	十二圓七十九錢
二節	十二圓七十七錢
三節	十二圓七十八錢
四節	十二圓七十八錢
五節	十二圓七十六錢

賣買取組高	
九月限	一萬石
十月限	一萬八千四百石
十一月限	六萬三千六百石

各宮家……御用
女流美容術大家　マリールウオズ嬢
▲一般御婦人のために……語らる▼

容貌を美しくする原因に就て（その一）

深窓にお育の華族のお姫様なぞで朝夕お顔の手入に餘念ないにも拘らず、持つて生れた美しさが何時こはなしに損はれる方もあれば、また暫くお目にかゝらぬ内に、見かはす程美しくなられる令嬢もあります。これは其時折にお用ひになる化粧料に由りますので、つまり品質の良い化粧品を使へば、何時こはなしに美しさを増し、悪い化粧品を使へば反對に地肌を損つて醜くなるのでありますが、さて一概に値段の高い、體裁のよい品が品質も必ず上等であるこは申されません。隨分香や體裁で誤魔化した品質の良くない化粧品もありますから、其見別方には餘程注意を要するのであります。

私は高貴の方々の御化粧方を務めるにつけて最も苦心するのは此化粧品の撰み方であります。從來は佛蘭西から取寄せた化粧品に就て嚴密な分析試驗を行つた上御用に奉つてゐましたが、御承知の歐洲の戰爭以來、舶來品は思ふやうに參りませず、殊には畏きあたりより國産御奬勵の聖旨もありましたので、國産化粧品の内で最良のものを撰みたいこ考へて居た折柄、丁度美顔白粉が桃谷研究試驗部の**學者の手によつて發明せられた**こいふ事を聞きましたので取寄せて嚴重に試驗もし實地にも試して見ました處、其品質の優良なる、一点の批難すべき所がありません。有繫は學者の製品、これならば決して間違ないこ、終に**日本に於ける最良の白粉こ撰定して、これを高貴方の御用に奉る事に致した譯**であります。所が其後美顔白粉に引續き、矢張桃谷研究試驗部から創製發賣せられた白色美顔水、美顔ユーマーも、試驗こ實地應用こを重ねて見た結果、成程學者の創製でなければ見る事の出來ない優秀品で、眞に理想的の化粧品である事が判然確かめられましたので、是れ亦御用品こして御勸め申上げました様な次第なのであります。**皆様も容貌の美しさこ化粧品の品質こは密接な關係のある事**をよく〳〵お考へになつて、化粧品の撰擇には暮れ〴〵も御注意遊ばされ度いものでございます。

各宮家の御用を蒙り
名聲彌々高き
美顔白粉

■名譽の美顔白粉を創製したる
桃谷研究試驗部

■顧問　藥學博士　丹波敬三氏
　　　　醫學博士　山本淳二氏
■主任　藥學士　桃谷幹次郎
■主任　千葉藥學士　小磯勝次郎
　　　　千葉藥學士　齋藤銳助

京城日報

第三版

八日朝刊（夕刊と合せて八頁）

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金七十五錢
廣告料
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

京城日報

滿洲の經營

大連港の使命

近頃大連港繁榮策を提げて東西に奔走するものあり。其要に曰く近年大連の商業甚だ振はざるは、朝鮮の爲めに壓倒せらるゝが爲めなり。故に明治四十二年の海港鐵道運賃協定の昔に復して、朝鮮鐵道の貨物を南滿洲鐵道大連線に吸收するあらば、其繁榮發達將に期すべしと。其說一應は尤もらしけれども、是れ實は時勢後れの甚だしきものなり。且大連の繁榮發達を求むるの途は他にこれ有り。朝鮮鐵道の貨物吸收の如き小術策は之を求むべからざるなり。

今日世間猶ほ我朝鮮鐵道の何ものたるを解せざるものなき能はず。我朝鮮鐵道は、一面朝鮮半島の人民の爲めに、利用厚生の道を開くを以て目的と爲すと同時に、他の一面には即ち是れ日本と西伯利亞とを連絡し、歐羅巴の中心に通ずるの大通路たり、大日本帝國の對外經營上、政治上、及び經濟上の重大任務を帶ぶ。是れ國家の政策として、此鐵道の發達を助くるに力めざるべからざる所以にして、其當事者をして言はしむれば、其の義務の甚だ重くして、其保護を受くるの餘りに薄きを云はざるべからず。

然るに滿洲の鐵道は、其の全部露國の手に有るの日にありては、亦是世界的大通路の一たり。大連經營者は、常に拓殖鐵道たると、世界的大通路たるとの二資格を兼ねて、之を全くすることを期したれども、彼には浦鹽に通ずる大幹線あり。只大連が彼の唯一の不凍港たるの故を以て、大に此に顧慮する所ありたるに外ならず。然れども彼の最も力を致す所は、其の大幹線にあるを以て、大連經營者と浦鹽斯德經營者は、常に利害相反するの地位に立ち、其抗爭甚だ深甚なりしとは、今猶ほ世人の記憶に新たなる所なり。而して今日は南滿洲線は我日本に屬し、西伯利亞大幹線と我南滿洲線との中間には露國北支那鐵道線ありて介在するのみならず、大連線の眞の營業競爭者は、浦鹽線たると同時に、大連市の商業上の爭手は、則ち浦鹽斯德港なり。然るに今乃ち大連の爲めに說くものは、其當面の爭手と相競ふを爲さずして、却て朝鮮鐵道の貨物を割いて、之を大連に奪ふものにて、其計を得たりと爲すが如きは、其方針を誤れるものなり。

且南滿洲鐵道及び大連市は、自己の任務の極めて重大なるものあることを知るを要す。南滿洲は我亞細亞大陸經營の根據地なり。最近蒙古にも利益を伸張せむとするあり。北支那に於ける我利害關係亦漸く重大を加ふるものあり。南滿洲鐵道と大連市とは則ち是等經濟的施設の本源にして、其農業工業交通業の上に作爲すべきもの、日に月に增加するの覺あり。滿洲經營に當るもの、此新形勢を見て、其心力を致すの途を求めずして、區々朝鮮鐵道の貨物を割いて以て自ら得たりと爲すが如きは、餘りに短見ならずや。

經濟資料

朝鮮の機織業（三）

□綿織物の現況及其將來

▽白木綿類　綿布類中需要の最も廣汎なる白木綿類の製織が、果して有利なる條件の下に成立せしめんとするには廢布或は紬布業の如きとは多少其の趣を異にし少くとも左の諸條件を具備せざるべからず。

●原料たる綿糸相場の變動に堪へ得るだけの資力と經驗とを有すること●を必要とす。白木綿は他の織物に比し加工的手數を要せざるものなるが故に其の工費として見積るべき金額亦低廉なるを以て、時に綿糸相場の高低に因り、該織物が原料としての綿糸代金よりも低廉なる場合無きにあらず、斯くの如き機動に際し之に適應する投機的豫測の經驗並に之に堪へ得るの資力を有し原料品仕入方に付き處置宜しきを得ざるべからず、從て安價低級の織物なるに拘らず潤澤なる資金並に經驗を要する所以なり

●工費を低減せしむべき設備を要す●工費の低減は其の經營の方法如何に依りて幾分之を左右し得べしと雖も、其の主因は設備の如何に在り。即ち本品は製織工程の單純なる丈け生産能率の如何に因りて支配せらるゝこと大なる所以にして今日斯業の勝敗は進歩せる機械力應用の競爭に依りて決定せらると云ふも不可なし、從て現今該織物に使用せらるべき織機として手織機或は足踏織機の如き生産能率の低級にして工賃の高率なるものは到底其の使用に適せずして、一般に動力を使用し得べき織機を用ゐられ而も最も生產能率の高きものを選定し一人の工女にて少くも三、四臺を運轉し得べき織機ならざるべからざるの情況に在り。

●紡績工場の設備を要す●叙上の如く工費の低減と原綿相場の變動に堪ゆべき有利なる設備としては、織機工場に於て消費すべき原料たる紡績工場を之に併設し、自家の消費以外にも廣く綿糸の製造販賣を爲すの確實なるに如くものなし、彼の內地に於ける木綿工場にて紡績工場を有するは之の趣旨に出でしものにして、然らざる場合に於ては特に他の紡績工場と原綿の特約販賣法を締結し置くが如き最も有利なる一方法なり。

●漂白並に仕上工場の設備を要す●白木綿の多くは生綿糸にて製織せられたる後、漂白及び仕上（糊付、整理を含む）の加工を爲すを以て之等の設備にも相當の費用を要す即ち晒に對しては清流を控ふるの地域を必要とし、仕上整理に對しては布糊付乾燥機、艶出機等、高價なる機械の設備を有するか、或は之を委託し得べき工場を有するの必要あり

以上の條件より之を考察する時は、朝鮮に於て本品の製造を企畫し諸種設備の完成せる內地移入品或は海外製品と對抗的競爭を試みんとすることの到底不可能なるは何人も容易に首肯し得るところにして、半島に於て紡績工場の出現を見、一般的分業の發達を來す如きは、現在半島當業者の晒作業に於て一巻一匹の長さを超ゆる時は漂白の作業不可能にして而も仕上機等の設備を缺ぎ其の技術亦拙劣にして殆んど製品たるの價値を有せざるの一事例に見るも或は前途遼遠の憾なき能はざるなり。

曰く半島の地紡績原料たる棉花に於て豐富なる產出を有し、一方多大なる需要を控ゆ、此の二大要素に頼りて斯業を創策すれば甚だ有望なるべし。然りと雖も朝鮮產棉花は其の纖維優良にして、本棉花のみを以てする時は經濟上到底採算する能はずして、紡絲工程の生命たる混綿法に窮するなきを保し難く勢ひ下級品たる印度綿の輸入に仰がざるべからざるなり

▽二、色木綿及地變木綿　色木綿及地變木綿の製織は白木綿に比し左の如き有利なる諸條件を備ふ

一、地方的嗜好並に流行ありて、海外製織業者は之に適應すべき便利を缺ぎ、又白木綿に比し幾分の加工作業を要し、製品一樣ならずと雖も販賣に支障なき等の利點を有す。

二、白木綿に比して加工を要すること多きを以て工費に餘裕を生し、色合或は組織の工風を爲すの餘地を存す此等の結果時々其の販賣價格をして豫想以上に高潮せしむることを得

三、原料の變化を利用し或は色絲を應用して趣味ある織物を作製すること得、前者はシルケット織布の類及び擬麻布類（新羅織、漢陽等の類）にして後者は色木綿、足紬、縞物、玉虫縮、擬縮緬等あり

以上の如き諸利點を有するを以て工風によりては十分の利益を收得すべき餘地を有す即ち一般の需要に適應すべき趣味を研究して之に投資するの努力を致さば今後有利なる事業の一たり得べきこと明かなり以上叙述せしところに依り略ほ木綿類の項を終れり尚ほ麻布紬布織物及び交織物業に關しては後日項を改めて記述する所あるべし（終）

放浪漫記

八月十日シンガポールに於て　大谷光瑞

（承前）ボンベイ附近に在ては其成熟期を五月とす、五月は印度最熱の時季なり、六箇月の長期を通じ殆ど一雨なく、暑威其頂に達し炎々たる烈日草木を枯死せしめんとずるの期なり、蓋し果實の糖分は雨なく乾燥せるに非ざれば多からず、マンゴーも亦乾燥期中に成熟するを以て糖分を藏すること多し、故に此の良果を口にせんとせば印度の酷暑を忍ばざるべからず、是れ酷暑の苦に對する天賚の賜福なり、之を輸送するや三日を過ぐれば稍味を損す、小生本年雪山に在て清涼の地にて美果を食せり、酷暑の苦を免れて天賚の賜福のみを貪るを得たり、實に鐵道の恩なり、ボンベイよりシャムに至るや四十三時に過ぎず故に三日を出でざるに之を口にするを得、ボンベイに坐して庭園より直に之を取るに比してや、遜色あるやも知れざれども、一般に果實は樹枝より直に採て食するは美なりと雖も、果實により一定せざるも多少時間を隔つて良とす故に四十三時は決して長時間に非ず、假にや、遜色あるも雪山の清涼は償ふて餘りありと云ふべし、既に六月中旬に至つては店頭に此の果實を見ること稀なりと。ボンベイ在留の邦人は本邦の知人に之を送らんとし、數年の經驗を重ね近時は漸く之を送致するを得たり、其法はや、生熟の良果を撰び航海中に過熟せしむるに在り、ピーオー汽船の上海に直行せるもの最少時間なるを以て、之に托送せば上海に至るに約三週間を要し、之より轉送せば東京に至るに更に五六日を要す、郵船會社の荷物船の直行に托せば、神戶に至るに二十五六日を要すと雖ども時として航海中は陰涼にして三十日に及べり、而して通良き處に置き追熟せしむ、之を氷室に貯ふれば追熟せしむる能はざるにあり成績不良なり、而して百中得る所二三十に過ぎず、故に本邦及び上海滿洲に於て之を得るは金玉を嚼むに等し、上海はや丶本邦よりは近距離なるを以て從て成績良好なり、如此くして之を得るも其味は產地に於けると實に別物の感あり、是良果の味を知らんと欲せば印度の炎熱を忍ぶの勇を鼓せざるべからず、マンゴーに次で一般の嗜好に適する良果はマングステントス、ガルシニア、マンコスタナの果實なり、外形柿に類すと雖も肉は全く別なり、外皮を割けば中に五六個の瓣あり、大瓣は核あり小瓣は皮なし其味甘く、桃實の美に敵す、此果亦貯藏に適せず二週間を最大限度とす、印度に於ては少なく、馬來は其產地にして季節（七月）に際せば賤しき事土の如し。（未完）

日報詩壇

○閑居夏夜　岡山　牧雲
一叢新竹綠成林。傍水風軒漸沁襟。已覺頭笑迎客。更留蛙聲齊横琴。流螢入座黃昏靜。冷露消青夜氣深。不羨人間富貴。閑居殊古百年心。
評曰　清和自在

○同上　木田　芳洲
四面園林一小亭。柳姫竹家翠雲可。悽無月無風夜。涼意如流飛數螢。野花幽草一叢叢。月下逍遙微徑通。特地三更風露氣。未秋時節促吟蟲。
評曰　出語清絕、涼氣撲臾

○同上　望月　桂軒
蛙鼓嬰聲若雷。蚊軍大舉壓軒來。笑殺菊物代硝藥。倏忽樣頭敵屍堆。
評曰　奇想、奇構

文明的家庭の日用品たる地圖は最も新しきを擇べ

富山房編纂部編纂

大正五年改版 最新日本地圖

富山房が最新日本地圖と稱せられ鮮明精確其他凡ての點に於て本邦地圖の白眉たる信用天下に治きは既に十數年間の事實なり。而して需要益々旺盛なるに鑑み本圖の最新調査に基き全然改版すると同時に紙數を增加し著名の工夫に一層の考案を凝し品切の處今や帝國版圖の膨脹と社會の進歩とに鑑み附錄の各種統計五十餘項を敷へ茲に面目を一新して眞に完全無比なる活用的アトラスを大成せり。家庭用、旅行用、乃至學習用として各方面各階級の人士必ず一本を備へざるべからず

四七面定價 六圓 特價 ...

東京神田 富山房 振替一〇五

日本少年增刊

海國少年

海軍中尉御正裝の 東宮殿下

威容堂々海を壓す 軍艦畫報

▲海國少年の歌 ▲潜航艇の話 ▲軍艦の話 ▲海底旅行 ▲全速力 ▲海國少年 ▲懸賞作文

六大海國小說 ○漂流少年…芳水 ○怪島魔島…貞一 ○海底の牢獄…砂邱 ○幽靈船…呼潮 ○沖の不知火…白羊 ○海の賊船…忠水

定價拾貳錢 郵稅一錢五厘 半年分七冊八十五錢

東京京橋實業之日本社

幼年園

（十月號出來）

本誌は全國第一流の敎育家。三百五十餘名の賛助を得たる培風館の編輯發行にかゝり子供向雜誌中天下一品の定評あり。詳しくは本誌前號本號及次號以下を一見せられよ。子供雜誌には俗惡にして有害なるもの多し。世の親御樣方は斷じて他を排し本誌を其愛兒に與へざるべからず。（定價各冊十二錢送料一錢）

東京市小石川區宮下町三五 培風館 振替東京二六二一

日韓書房

新版報告

千原伊之吉著 成金物語 定價
宮家壽男著 潜艇奇襲 大英國の危機 定價
花田甚五郎著 新潮を汲める 綴方敎授の實際 定價
後藤昌中共著 ペン習字手本講話 定價
竹中繁次郎著 轉地療法 山と海 定價

京城本町二丁目 電話一四〇五 振替口座一一五

鷺村成嶋淑士編著

朝鮮名勝詩選

（今回五百部を限り 特價八拾錢）

四六版最美本 六百三十頁 定價金壹圓卅錢 郵稅金拾錢

鷺村成嶋氏は詩人にして又劍客なり併合前未だ韓國政府時代に夙くも渡韓警察官となり劇務に鞅掌する傍ら鋭意半島古來の文章を繹ね特に名勝詩賦の蒐輯に志し眼を舊記に曝らし遍く諸家の稿本を涉獵し或は親しく實地を踏査し收むる所實に二千有餘篇に及び名けて朝鮮名勝詩選と云ふ輯集する所新羅以降李朝各代に大家の吟詠に係る金聲玉音にして優に其時代の文章を代表し餘あるのみならず其地理沿革傳說等に至る迄之を擧げ巨細を悉し不滅の光輝を生ず燈火親む可き季節劈頭の好讀物也

賣捌元 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部
大取次大阪屋號、日韓書房、巖松堂 其他各地支局

重石賣買並に精煉

營業科目　金鑛採堀、分拆製煉 鑛石賣買、金地金買入 測量製圖

京城永樂町二丁目 山內鑛業所 電話一四八九

CONOSALVIN

白檀油代用藥 コノサルビン

內服治淋劑として其効果を公認せられたる白檀油と化學的結成を等ふす 治療的效果白檀油と相伯仲し殆んど消化障碍なき特徵を有す 本邦產植物より發見せる純內國產なれば價格低廉なり 故に本品は最も優秀卓絕なる 白檀油の代用として 好評嘖々たり ●文献兒本進呈す

發賣元 大阪市外中津町光立寺 三友製藥合名會社
特約店 大阪道修町 武田長兵衛 東京本町 小西新兵衛

醫科大學病院御用

純良 赤門葡萄酒

滋養補血ニハ赤門葡萄酒ニ限ル

大阪道修町小西商店洋酒部 各地洋酒食料品店にあり

朝鮮代理店
京城 新井大藥房 電話九〇四番 振替京城一六番
同 明治屋 電話二一二番 振替京城四四番
平壤 森田藥舖 電話一二九番
仁川 井上商店 電話八六番
釜山 本嘉納釜山倉庫部 電話三一番
同 あつまや 電話三五八番

商業登記公記

株式會社漢城銀行水原支店登記事項中大正五年九月二日京城府無番地參丁目四拾貳番地ニ支店ヲ設置シタリ 右大正五年九月六日登記 京城地方法院水原支廳

品質の優秀は 酒 酩

最後の勝利を獲得す　絕對の信用を博し

特約店 京城本町三丁目 山本富之助商店 電話五七五番

攝津灘新庄家 宮內省御用酒釀造元 若林合名會社

一亞鉛銅板類、乾電池ケーブル其他右購買ス詳細ハ昨日ノ總督府官報ニ在リ
大正五年九月八日 朝鮮總督府遞信局

十二圓七十六錢

二萬百石

を巡回中の巡査に押へられ取調べ

○立太子式大祝賀會
東宮殿下の臺臨を仰がん

十一月三日に御擧行あらせらるゝ立太子式は皇室御一代の盛典なるのみならず其の日は天下萬民又大に壽ぎ奉るべき佳日なれば東京市にては當日宮中の御都合を伺ひ會場に東宮殿下の台臨を仰ぎ大祝賀會を催す準備中なり（東京特電）

○朝鮮簡易保險と相違點

朝鮮に實施す可き簡易生命保險案は内務省參事官會議を經たるを以て不日法制局に廻附さるゝ筈なるが大體に於て内地法と大同小異なるも唯左の三點は内地と相違し居れり（東京特電）
一、保險執行の場合に於て朝鮮人の被保險者に對しては其積立金を返還せず
二、保險の執行若しくは契約覆滅の場合には診斷書を徴收する事とし内地に於けるが如き削減の機關を設けず
三、内地に於けるが如き保險契約に關する審査機關を設けず

○蒙軍引續き退却

蒙軍は三日朝陽坡占領後引續き退却を開始し四日其一部は公主嶺の西北方四五里の地點に又其主力は大楡樹に到着せり尚我佐藤支隊は五日朝全部公主嶺に集中したり（七日陸軍省公報）

○王鴻年歸る

王鴻年氏は六日北京に歸れり（奉天特電）

○嵯峨引上

嵯峨艦は廣東を近く引上ぐ可し（東京電報）

○獨勃軍羅國侵入失敗
羅軍は國境全部を保持す

倫敦來電＝公報に曰く、ブカレストより其の筋に達せる報道に據れば獨勃軍の東部羅馬尼侵入は敗北せしめられ羅馬尼軍はダニューブ河以東の國境全部を保持せり（紐育電報）

○希國態度不決定？

聯合艦隊は希臘雅典を脅かしつゝあり爲めに同國内に於ける親獨派非親獨派の軋轢甚だしく從つて其態度決定せずとの情報或る筋に達せり（倫敦電報）

○墺敗是認

伯林來電＝獨逸公報はガリシヤの墺軍中央部がヅロタ、リパ河とドニエステール河との間にて露軍の爲めに退却せしめられたる事を是認せり（紐育電報）

○獨艇破壞

英佛飛行機隊は白耳義のゼーブルガ海岸に於て獨逸潜航艇を破壞せり（紐育電報）

○英船撃沈

三日英國汽船ケルヴヂニア號は獨逸潜航艇の爲め撃沈せられたるが乘客中の米人二十八名は無事救助せられたり（紐育電報）

○露勃騎兵小闘

露勃南軍騎兵隊はトブルジヤに於て小戰闘を行ひしが勃軍偵察隊は露軍の爲めに切り崩されたり（露都電報）

○米價調節調査會開會

米價調節調査會は七日午前九時より農商務省に於て開會河野農商務長席にて著き米の加工及び之れが方法に就ての研究を爲すの件並に内地と朝鮮臺灣との農業經濟の調和を圖るの建議案即ち朝鮮、臺灣に於ける外國輸出に就き奬勵を加へ、且つ米以外の農作物にして内地の風土に適準せず却つて朝鮮臺灣に適應する産業に對し特別の保護奬勵を加ふる等相互間の農業經濟の調和を圖らんとの兩案

に就き一讀會を開きたる結果多數にて二讀會に移し猶ほ前日の問題たる田租納期繰下案の二讀會を開きたるも決定に至らず散會せり（東京特電）

○支那軍事顧問
發表は歸朝の後

支那政府の軍事顧問として我陸軍中將靑木宣純氏を招聘する事に決定せるは既報の如くなるが正式發表は同中將の歸朝を待つて行はるゝ筈なり尚支那政府に於て中將級の外國武官を顧問に招聘するは今回を以て嚆矢とすと（東京特電）

◉秋山軍司令官赴任談

朝鮮駐剳軍司令官秋山中將は海上風波の爲め豫定より一時間を遲延し七日午前八時三十分過釜山著棧に出迎の爲め出張せる竹内軍高級副官と共に在釜將校釜山守備隊の諸列在鄕軍人分會役員及び官民多數の出迎を受け陸軍棧橋より上陸直ちに大池旅館に入り少憩後出迎へたる將校及び官民の挨拶を受けたるが將軍は往訪の記者に語りて曰く。余は明治三十三年騎兵將校たりし時南北全鮮を巡視したる後二回朝鮮を通過したる事あるが任に朝鮮に莅むは今回が初めてなり

▲總督政治は施政 宜しきを得て太平無事誠に慶賀に堪へざる次第なり由來太平は民心に惰氣を生じ易きを以て常に刺戟を與へ以て尙武の氣風を涵養する事肝要なりとす又支那に於ては家鄭屯事件に引續き

▲新河口事件續發 したるが同事件は重大なるが如く報導せらるゝも實は左程重大視すべきものには非ざるが如し余は昨年迄第十三師團長として任に滿洲に在り嘗に日支兩國軍の衝突ありたる

▲鄭家屯は滿蒙 の接境にして生活上と商業上の關係甚だ密接なり故に余の赴任するや一個中隊を駐在せしめ同地方を守備せしめたるが遂に今回の如き事件を惹起せしめたるは誠に遺憾に堪へざる處なれども滿洲は恰も日露戰爭前の朝鮮の狀態に酷似せるを以て今後も猶種々の突發事件を生ずべく之等の場合には宜しく愼重審議以て之を解決すべきなり（釜山電話）

◉南鮮の水害と防遏計畫
出水に對する土木的施設の大綱
土木局長 持地六三郎氏談

過般の水害に對する部分的調査に就いては出水後間も無く技師を各地に派して夫れ／＼詳細の狀況を視察させたのであるが自分は更に今後に於ける土木的施設の大綱を考覈する爲め次いで全羅、慶尙諸道を巡廻して河川の流域から其の灌漑及び排水等一切の狀況を觀察した先づ全羅北道から説くと本道に於る水害の根源は

▲例の萬頃江 であるが、此の江は其の源を全州、高山の兩河に發し參禮から流れて所謂全州平野を貫いてゐるので其の流域百方里と唱へられ灌漑面積の如きも全益、臨益同南部、臨沃の四水利組合區域丈けで一萬町歩を越ゑてゐる、然るに萬頃江は河床の高い上に勾配が無く遡流して來る潮の高さは十八尺から二十尺に達するのみで無く湖南線鐵道附近には兩側に高地が横はつて恰度此處を搾つた樣な地形となり夫れに全群街道や臨益南部水利の堤塘などが鐵道と共に錯綜して人工的

▲排水の障害 を爲してゐる爲め若し雨が續いて出水すると忽ち濁水を來し甚しきは五日を經ても退水しない耕地がある斯樣な狀態であるから排水の方法に就いても却々容易の業でなく假令萬頃江を改修するとしても今後絶對に之を防止する事を得るか否かは問題であるされど此の一部の流れを附け替へると共に鐵道では踏切附近全群街道では或る一部の箇所を改め且つ其排水路―尤も鐵道の方は此の方針に依つて排水路を擴大してゐる―を新設し幷して臨益並に同南部兩水利組合に關係ある

▲排水路の改修 を加へたならば今後の水害を絶對に保證する事は出來ぬだらうが大に輕減の實を擧げるとは慥かである其處で當局は此の方針下に諸設備の計畫中であつて之れが樹立確定したならば夫れ／＼工事に著手する自分の方では出來る事ならば大正七年度にやりたいものだと思つてゐるのであるが何しろ河流の附け替へのみでも六七十萬圓の工費を要する事であるから確定までには尙ほ多少の日數を見る事であらう拙説自分は此處の視察を了へて今度新に認可された

▲古阜水利組合 區域の地勢を見た此の組合は五十餘萬圓の工費を投じて三千六百町歩に灌漑の便を開かむとするものであるが地勢を按ずるに充分多望であるから將來有利の事業たるを失はぬ事と思ふ但し灌漑と同時に排水の設備を怠つては不可ぬ此の兩設備にして遺憾なきを得たなら其事業は成功するに相違ない

其から全羅南道に入つたのであるが

▲榮山江の流域 に對しては同方面の視察を省いて光州木浦に行つた光州の水道は大正六年度から工事に著手する筈であり木浦は現に港内の浚渫中であるから略すとして次いで忠淸南道の江景及び大田に移る事とする江景は御承知の如く

▲錦江の川邊 に在つて水陸の便も備はり昔しから三大市場の一に數へられてゐる處が水運の便がある代りに水害の厄があつて出水の度毎に多大の慘禍を蒙る爲め市民は上下を擧げて之れに對する施設の計畫を熱望してゐる自分は今度實地を檢分したのであるが此地の水害は錦江で無くて其の支流の論山川から來るのだから十萬圓も投じて江景川を附け替へ錦江に防水堤を築造したなら充分其の被害を免れることが出來るであらう然し之は計畫丈けで實現されるや否やは別問題である又大田は

▲大田河邊 の都邑であるが此町は元來同河の氾濫區域内に造つたのであるから出水に際して被害を見るは數の免れぬ處である併し今迄の水害は第一第二の兩大東河から來たので住民は兩川に對する設備を希望し當局も亦之を諒として道の事業として國庫の補助と市民の醵出に依つて其の一部の附け替へ工事を施したので、あつた處が之れには成功して暫く水害を免れてゐたが今度は大田河上流の堤防は壞れて來た爲め復たしても水害を蒙る事となつた此の儘に放棄して置くと大田は水に浸つて仕舞ふ事となる此に對する施設の方法は色々あるが目下種々計畫中であつて未だ一定してゐないから此處だけは姑く措いていはぬ事とする

◉市街道路改修
京城のタール道路

京城府は曩に總督府より土木事業の全部を擧げて引繼を受けしより新に土木係を設け吏員を增加し極力市内道路の改修に力め目下南大門通り鮮銀以南のタール道路を修繕しつゝありタール道路は前年總督府にて修築せし以來兩三回修繕を加へたれども何分京城市街目拔きの場所とて一日に往復する車馬、人員の數も亦數千又は數萬を以て算する位なれば從つて路面の損傷も多く爲めに折角修繕を加ふると雖も早きは一二箇月遲くも半年位にて凹凸の個所を生じ其れが復舊策に關しては當局者も大に苦心する所ありたるものなり元來タール道路の補修工事は普通道路の修理とは一種特別の技能を要するため土木係にても種々研究の結果稍完全に近き成績を得たるを以て今後は一部分の損傷箇所を修繕すとも直ちに龜裂を生じ路面に陷落を來すが如きことはなかるべく完全に修理し得る確信ありと尙ほ京城は幸にして京城電氣會社の瓦斯製造所より産出するコールタールの量非常に多く而も内地に比し約三分の一位の價額を以て買收し得らるゝ便利あれば今後漸次に此タールを應用して本町筋を初め殊に南山町旭町等の如く出水の度毎に土砂を流失する各路筋にもタールを撒布して路面を凝めんとする計畫なりと云へば近く完成を見んとする市區改正の終了迄には京城市内の主要道路は殆んどタール道路となり一方下水工事の落成と相俟つて理想的なる新市街を實現するに至るべし

◉慶北穀物成績

昨年鮮穀は價格の昂騰と對露輸出とにより玄米は今尙多大の搬出をなし居れるが本道穀物同業組合檢查所八月中檢查數は玄米三萬百二十二叺大豆三千二百五十四叺を示し玄米は出盛期に劣らざる盛況を示し安東縣新義州、京城、仁川等に仕向けられ大豆は例の如く内地に移出さる移出玄米は改良米一萬四千百九十七叺在來種一萬五千九百二十五叺なり

◉忠州の金融

漢湖農工銀行忠州支店の調査によれば忠州地方金融は先月來引續き緩漫にして京仁地方より奥地雜穀豫約手附金として農銀支店經由支拂爲替は漸次增加の兆あるも九月中旬に至らざれば活潑なる取引行はれざるべし同支店にては現在の金融狀況に鑑み九月一日より預金利子引下げを斷行するの餘儀なきに至れり鑛物の集散は依然盛況を持續せるも日用品は三割六歩方需要の減少を觀るに至り商業家は在庫品殊に夏向品の賣行を氣遣ひつゝあり物價は紙類の一割方低落せしのみにて大差なく玄米石十二圓大豆七圓小豆八圓等なり七月末以來本金庫補取引の圓滑を缺ぎしのみならず曠大なる奥地を華客とせる同店は非常に困難と不便を感じたり因に漢湖農銀支店八月末帳尻左の如し
▲預金六九、四〇四▲貸出一二六、九四六▲商業資金貸出七六、九八〇▲農工資金貸出五〇、八六三▲金銀出納入二二六九、八四三三一二六四、臨一二

◉經濟研究會例會

經濟研究會第三次例會は來る十一日（第二月曜）午後六時より長谷川町銀行集會所内に開催せらるべく當日は目下朝野の問題となれる三線連絡運賃制に關して鐵道局和田參事より詳細の説明をなす筈なり

○鮮人支那兵に殺害さる

去る二日昌圖より朝鮮に歸還せんとする朝鮮人三名の内一名支那兵の爲めに殺害されたり（奉天電報）

◉八月手形交換高 八月中に於ける京城手形交換所の交換總高は二萬九千五百八十二枚金額五百七十七萬四千二百六十八圓にして之れを前月に比すれば枚數金額共に僅少の減となり居れど前年同月に比すれば枚數七千枚金額百五十五萬圓の增加となり居れり

◉土岐製麻會社長一行 六日夜内地より入京せし帝國製麻株式會社長土岐僙氏の一行は七日夜北行列車にて出發せり一行は奉天に一泊の上北京に到り歸路は上海に取り海路歸東する由

人事消息

▲河村多賀次郎氏（京都帝大講師） 入京中の處七日夜退京
▲金武官（李王世子附） 入京中の處七日夜退京
▲一戸直藏氏（理學博士） 七日入京朝鮮ホテルへ

南言北語

老て壯なる板垣伯の曰く曾て中江兆民居士から晩年を如何に送るべきやとの質問のあつた時▲貴下は文筆に達して居るからウンと不平を並べて死ぬが好いと答へた事がある▲我輩も近時世間の事を考へると感慨に堪へぬことが多い▲耳は聾して他人の説を聽くには不便だが目はまだ／＼達者だから存分世間の惡口を吐いて死にたいものだ▲男子志を廟堂に得ざれば言を危うして野に處するに如かずだよ△未だ却々元氣があると見ゐる老後の思出に一つやつて見ると好からう△紫安大藏副參と福田又一、綾部總兵衛の諸君が松江に遊説に行つた序に出雲の大社にお詣りをする事にした△出雲の神樣と云へば縁結びの神樣だが生憎三人共チャーンと妻君を持ち合せて居る△其處で縁結びのお詣りとは行かぬからせめて女房を貰つたお禮詣をする事にしたが▲何うも何方もお禮を申し上るやうな妻君でもない其れならお恨みを申上やうと決定して出掛けた▲處が一同神前で祈願の際紫安副參君は唯一人感謝の色が面に溢れて居た▲奚ぞ知らん紫安君の妻君は美人の評判のある人であるからお恨み處か感謝の意を表した相な▲他の連中も果して神樣をお恨み申したか何うだかとの評判だとは阿呆らしい▲近時艶名を傳へられた江木翰長の曰く▲天下の名妓なら鬼に角疎にも知れぬ連中との艶聞沙汰は恐縮千萬である▲其で署れとは餘りに慘酷だ却て懇親會の招待でも受けたいとは何處迄も利巧な口の男だ

購買入札
一、消印器 貳千五百拾七個
右購買ス詳細ハ大正五年九月八日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
大正五年九月八日 朝鮮總督府

第一號 龍山步兵聯隊兵舍屋根修繕工事
第二號 平壤步兵聯隊兵舍屋根修繕工事
右工事請負入札ニ付詳細ハ本月四日朝鮮總督府官報ニアリ
第十九師團經理部

京日案内
普通 一回金一圓 一匿名一回每に 三十錢 番外 一回金一圓 六十錢 五錢增 無割引

◉周易觀相…見料隨意…試みに評せられよ必ず中る法螺でなし永樂町一ノ九商品陳列館通坂中途均陵庵 172
▼トンキホーテ 上下六、四 補竹 發行賣價四圓 武武蔘カツホヤ書店 165
京城本町振武武…
◉店員入用 市内に確實なる保證人を要す本人來談あれ△京城太平通二丁目 遠藤味噌醬油小賣部 191
◉二連獵銃 英國ボーネヒル製十二番口徑 但安價にて讓りたし（姓名在社） 192
◉店員入用 年齡十七八歲以上の者 確實なる保證人を要す本人來談 龍山渡江通電車終點前 貂屋雜貨店 174
◉松汀里光州間自働車は太田木浦間凡ての列車に聯絡す △光州加藤自働車運輸部
◉馬山浦所在宅地四千坪並洋風建物安價にて賣りたし（姓名仁川支局） 125
◉外務員募集◉ 京城旭町一ノ一二八 （委細面談） 愛國生命保險會社出張所 145
◉古本熱心高價買入△御報參上 ◉是非御試賣を乞△本町四 ◉電話二七八一番△書肆群書堂 164
習字 御手本類は何でも有ります （目錄進呈） 東京市九段下電車通り 精華堂法帖店 72
番外 手輕く遊べる川舟屋形 一人の舟賃卅錢五人乘以上百人乘迄數隻を備へ御用達 龍山電車終點電話五二八貸舟共樂社 122
◉朝鮮語科 新學期三ケ月修業 ◉英語科 新學期ABCより 南大門通（漢城銀行向ひ）京城靑年會 190
店員入用 年齡二十五歲以下得意廻りに經驗を有する者三名入用月收歩合勉強次第相當收入あり市内に保證人を要す 京城吉野町 岩城發商店食料品部 188
貸家 漢陽公園下見晴らしよし日本間二室八六疊洋室六疊溫突四疊湯殿物置水道付家賃三十五圓 御用の方は旭町一白水へ 189
ゴム風船ゴムホーヅキルデサツク外諸サツク其他各種ゴム製品製造御卸 電話二六〇六振替一九三三 太陽ゴム商會 京城太平通大漢門前 158
質 大勉強 確實 誠意 永樂町一丁目商品陳列館前チヨツコン下る ハタ秦 170
礦物定量分析 京城府太平通（朝鮮公論社左小路）電話一三四四番 坂元分析所 185
自働車 修理、調節、分解組立 賣買、貸借、紹介 部分品附屬品製作 京城古市町三十七番地 京城自働車工場 電話九六五番

新刊圖書御案内
書名 著者 定價
◉土地明鑑 竹内伊四郎 五〇
◉官公吏必携書翰と式辭 鈴木魁 八〇
◉近頃儲かる商賣百種 金々先生 六五
◉八犬傳物語 大町桂月 九五
◉寫眞のうつしかた 三宅克己 七五
◉名家文選松韻讀聲 新井無次郎 七〇
◉芭蕉書簡集 俳書堂 五〇
◉新撰子規句集 東亞堂書房 六〇
◉戰爭と國際法 立作太郎 三、五〇
◉獨逸文法辭典 片山正雄 二、八〇
◉新婚の夜 孔雀洞主人 七〇
◉大正五年改版 最新日本地圖 富山房 一、六〇
◉建築圖案集 武田五一 二、三〇
◉巨人南洲 山崎櫻涯 七五
◉魔術園藝 大正園主人 三〇
◉實地圖解盛花瓶華秘法 乾流 一、〇〇
◉明治裏面史 伊藤痴遊 一、五〇
◉鐵道旅行案内 鐵道院 一、〇〇
◉現行醫藥衛生法令全書 久志野松三郎 二、〇〇
◉浦潮斯德事情 濟軒學人 一、三〇
麗松堂書店 京城本町二 電話一一六六番 振替京城一四五四番 京城支店 仁川支店

小兒良藥 樋屋奇應丸

専治 きつけ 소아의 실신 간질 むしれつ 급발성열증 等に奇効神の如し 到る處の藥店に有り
樋屋合資會社 大阪天滿橋

牛乳販賣 取次朝夕配達 仁川牛角洞 岩本次郎 電話七六七番

新刊書御案内
書名 著者 定價
◉大正四年 大日本外國貿易年表 上下 大藏省編纂 四〇〇
◉朝鮮名勝詩撰 成島熊村 特八〇
◉株式閑話 五十嵐力 一二〇
◉世間學 浪六 九五
◉印象派の畫家 柳澤ヤギ 特一五〇
◉埃及建築史 石山徹郎譯 特一五〇
◉戰線に立ちて 名將逸の內部 芹澤一郎 一〇〇
◉實驗有効民間療法 伊藤尚賢 一〇〇
◉英獨奇襲 大英國の危機 同 七五
◉幕末明治裏面史 茜森花影 五五
◉人情學 青柳有美 七〇
◉彩色淀の帯 餘のうぐいす 村上静人 一〇〇
◉岳麓講談 播磨院長兵衛 桃李口演 三〇
◉男讀むべからず 丹いね子 七五
◉大正琴自由自在 碧城山人 二五
◉朝鮮辯護士 受驗者必携 法律講義 阪上納吉 特七五
◉同 法律問答 同 四〇
◉同 朝鮮行政法規大意 安達大壽計 四〇
◉同 會話譯文速成 同 四〇
◉同 作文軌範 同 四〇
◉朝鮮巡査受驗提要 水野渉 特四五
京城本町 電話二八〇六 振替京城二五三七 大阪屋號書店

しも勝大若布等産物の出廻り一時不振を呈したるも米價は益々好調にして鮮界の人氣を煽り米粟小麥等入…みとするの外なし…は一般に先約を構へたるを以て當面見越の强人氣を呈せ爲當市場に於て…枯れ閑散期なるに拘らず金融は一般小繁裡に經過したりと

▲④龍く…る …持續し日曜旺盛にて東岸…ては日中の氣温大に上昇し北西地方…

▲乾分… …乃至四度北東部は二乃至…平年の半量に過ぎざるも今本年各地…其他は一般に過少にして京仁地方は…

江陵　元山　平壤　龍岩浦

…武刑辯護士…後一時半開廷せしが五味裁判長は十一月に至り歸つて…

谷鐘秀總長を訪ふ

北京胡同寄舍に於て　特派員　神崎憲一

日本留學生出身の時代の寵兒

應接間には朝から來客で一杯

如才のない捌けた挨拶ぶり

H博士が『俺の馬車が空いてゐるから乘つて行け』と云ふN氏の案內で夜を徹して降り續けた雨を衝いて出掛ける三日午前十時泥濘を飛ばして先づ農商總長谷鐘秀氏を其邸に訪づれ刺を通ずると待つ程もなく門僮『が此方へ』と案內する例に據つて支那式に石で疊まれた磚道を傳つて

二つ三つ潜り門を

入れば鬱然と生ひ茂つた老槐天棚を蔽ふた木の下蔭に應接間があつて其處で二三人の來客に接してゐた主人は此方の姿を認めるや直に坐を立ち戸口に迄出で迎へつ『よふこそ』と許り手を握る打ち見るところ年齒漸く四十肥滿した軀には簡單な支那風の時服を著け髮は長く左から分けてゐる座にある客は前國民黨直隷省支部長で現に商議會長をしてゐると云ふ遜某氏

同じく國民黨員で

改めて財政部の官吏をしてゐると云ふ錢某氏——谷氏は更に間隔を設けず快豁な調子で語つたが餘り日本語が巧みだとは言へない然し意を述ぶるには足る元より國民黨員多士濟々たる裡にも殊に錚々の聲れあり殊に早稻田の出身で打てば直ちに應じ響かん才氣煥發の時代の寵兒である。『昨日の閣議ッて其麼ものありませんね、二、三私早く歸つて來ました』と問題が鄭家屯事件に就て進み出す林公使は本國外務大臣の指示に隨ひ二日外務部に

鄭家屯問題に關す

る抗議要求を提出に及んだが政府では直ちに之に對する應急の閣議が開かれ更に公使の段總理に面晤して日本の好々的意のある處を披したるに對して第二の閣議が開かれた（昨日午後四五時頃）と傳へられた其第二閣議が今議の問題に成つたのである『日本の提案……さあどうですか何しろ政府が調査の爲めに派遣した王爲年が昨日漸く鄭家屯に著いた許りですからね。さうですねまだ

一週間位經たない

と歸つては來ますまいし王が歸つて來なくては話は……』其れでは日本から提案した內容は怎麼ものです？『さあ』と許りに言葉を濁す一體日本の其提案は日本側から言へば仲には非常に齒痒い位のものだとさへ言ふ人がありますが支那側には如何ですと言ふけど夫れさへも判然した辭で返へす事をしないでどつちつかずの言葉を繰返へすと其內に續々とお客があるので或は次の應接間で應對し入口で立話し新民國の

總長たる又難い哉

と思はせる是でも先づいゝんだと云ふ。孫內務總長の邸にでも行けば到底も二人相對して話たりする樣な事は到底出來やしない。で應接間には雜然として十數人の客と一緒だし其れに他の待合室には十人も二十人も順を待つてる訪問者があると云ふ調子だ先づ此位の客ならば大に恕すべく然も是れ全く雨の爲めなのだ——などとNさんは頻りに說明を加へられる小僮が頻りに茉茶をつぐ。一口二口飲んで卓に置くとすぐに後を滿々として行く。そうかと思ふと其

小僮は煙草を持て

來て薦める此應接間で特に氣の付いた事は其非常に質素な事だ漸く一間半に三四間位の支那風な部屋にアンペラを敷き詰め出入口を殘した他の總ての壁に沿うて長短樣々の椅子腰掛けを据ゑ並べ所々に小卓子三四脚を置くと云ふ調子のもので無論官邸がある譯ではなし至極簡單素朴なもので のである間口漸く四五尺一間にも足りない位の正門側に掛けられた白木の標札に單に谷寓の二字のみの記された樣なのも又シンプルライフの一面を語てゐる。然して其居住の設備が質素簡單なるが如く擧措に於ても應對に於ても亦聊か

偉を衒ふ風もなく

間隔を設けると云ふ容子もなく極端に平民主義である信くてこそ共和新政の總長であらうとは思はれもする一體言へば支那は元威容を尙び尊大を以て偉とし起居容易ならざるのみか寧ろ傲岸不遜の態度を以て足れよしとされてゐた筈であるのに常業地に達れ五彩旗翩飜として黃龍を逐ふた今日に於ては全く別箇の新趣が現はれて來た大支那四百餘州に方今瀰漫してゐるヤング、チャイナの色彩氣分は正に澎湃として見ざらんと欲するも能はざるものがある

此ヤング、チャイナ

の氣氛氣こそは轉て眠れる獅子を醒ますべき動力と成るべきものであらう——（此事に就ては頻りに書き度い事もあるが今は其場合でもなし又餘りに本題を逸するから此位にして）——兎に角到る處極端な新しみと極端な保守々舊とが燕京のあらゆる景風に明々白々たる姿を顯はしてゐる我が谷鐘秀氏の如き正に此新時代を代表する數指中の一指である……なぞと頻りに感心してゐると他の應接客との會見を濟ませて主人が座に就いて來た。ご見て遜、錢兩君は素敬くつて用談を密語して匆々告別し去る

▲朝八時出勤の精勵ぶり

今迄支那の大臣に無かつたこと

漸々三人鼎座の機を得た其處で改めて時事問題たる鄭家屯の件を總退したが國務員同士申合せでもあるかの如く一切口を緘して語らない其れも無理はない敢て谷氏を困らせる許りが能でもないと今度は反對に出る、『農務部が今後支那に於ける財源開發の任あるは申す迄もない事ですが其前に先づ其處迄行かないうちに各部のあらゆる方面に於て財政の

緊縮をやる必要が

あり昨今頻りに努力してお居でになる事は大に認めさせられる事ですが殊に其內でも貴下の農務部に於ける大改革の大斧鉞と一大革新の氣を鋭く深く注入してお居でになる事は感心の外はありませぬ』と心から大に同情して賞揚すると谷氏元より自信あつてやる事ではあり且又御自慢の一つでもあるので『イヤ、アハ、、、、さうでもありませぬけどエヘ、、、』と非常に曖昧な挨拶をし乍ら其れでも『毎朝八時に出勤します』と云ふ一體北京の官民は九時か十時に起るのが普通でそして其れが當然の慣習でありお役所の如きは

午後二時になつて

も主立つ人で出勤してゐないなどと云ふのは兎角あり勝ちの事であつたし尙今も然るのにも拘はらず谷氏の八時出勤と云ふ事は全く一大改革の叫びであり努力でなければならぬ支那の明日が判らない樣に政治的變動に就ては警見よく研む事の出來ないのは言ふにや及ぶ——然し如何なる異變が生ずるに於ても此一度天に沖した新氣運の波瀾は決して消滅し得るものではあり得ない。如何なる形かに於て

今後常に大勢力で

あるに違ない。谷總長よ努力あれ！と固く握手して別辭した谷氏は門口迄送り鄭重の色を金縁眼鏡の裡に放つて送つた。（九月四日午前一時記）

高陽警察署廢止となる

海賊の檢擧

その他京城市民に貢獻せる所多大なる波瀾に富める歷史

六日官報を以て京畿道高陽警察署及び平安北道新州警察署は本月十日より廢止の件發表されたり新州警察署事務は鐵山憲兵分隊に移し同地に新州分遣所を設置することゝなり高陽警察署は…警視安藤友熊氏以下朝鮮人警部二名、巡査部長…二名內地人巡査十八名、朝鮮人巡查…巡査補五十名あり

◆高陽　警察署は明治三十八年二月故警視丸山重俊氏韓國政府警務顧問として應聘來任の當時舊韓國警務廳所屬警務北署と稱し京城內五警察署の一つとして警務官（奏任）の署長を置きたりしが明治四十一年一月より

◆內鮮　人凡てに對し警察行政が統一…せられ…北部警察署と改稱せらる…警部鈴木重民氏署長として…ことなり同時に…其後…署…北部警察署…稱せられ警部鈴木貫…氏…となりて現木浦警…氏分署長に補せられ…四年十月中

◆管轄　區域の變更より翌年林分署長は西大門分署長に轉じ警部楠本茂作氏來任せるも警視に昇進して城津に轉じ現警務部在勤の警部牧瀨伊左衛門氏其後任となり大正三年三月府郡廢合の結果更に管轄に

◆變更　あり水門洞分署は廢止となりて高陽警察署となりて事務の要求をなし大正四年六月一日警察官署官制改正に伴ひ龍山警察署廢止せられたる際同署長なりし安藤友熊氏署長に補せられて現在に及びたるものなり斯の如き變化多き歷史を有せる同警察署は恰かも京城市中と市外との交通上

◆關門　を扼し一方に於ては漢江の警衞に膺りゐたりし爲め强盜或は海賊の檢擧に努め大正四年中に數船を襲擊して船夫を慘殺して强盜を働きたる漢江の海賊數名を

◆檢擧　し其他京城市中に移入する穀物…の如きは大部分同署管內なる麻浦より陸揚げされ京城市中の野菜類の供給は殆ど同署の管內に於て產出したるもの多く其他土木の…埋め場の如き日常の生活資料を京城市中に供給すると共に阿峴里を初め火葬場…墓地の…

◆他の　警察署管內に見ざる例にして常に京城市中幾萬の居住者より吐き出る汚物塵塲所の取締りには大に努力したるものなりと

初秋郊外十景（六）

ちよろ〳〵と流れる小川の水面に紅い雲の色が映つる秋方だ。川に沿うた土堤の草原に、今畑から拔いて來たばかりの眞白な大根の束にしたのを長つも並べて、それを一本々々克明に洗つてゐた朝鮮人が靜かに猪いたやうに頭を上げて見入つた。空には秋の夕陽がわびしい光りを投げてゐるのに、小鳥が囀さず沮かとも思はれるやうな細雨が降つて來た……（さみ）

釜山豪雨被害

▽下水溝不完全の爲　▽排水充分ならず

▲市中の浸水　六日午後十時以來の降雨は夜半に至り益々烈しく爲めに下水溝不完全なる釜山市は排水充分ならずして低地地方は悉く浸水せり

▲發電所に浸水　朝鮮瓦斯電氣株式會社發電工場は浸水の爲め故障を生じ終に七日朝迄停電せるが目下排水に全力を盡しつゝあるを以て同夜より復舊するに至るべし

▲列車延着　六日午後十一時以來釜山地方に大降雨あり三浪津密陽間の線路破壞せる爲め七日午前五時四十分釜山着の列車は三時四十分遲延し九時二十分到着せり

▲輕鐵停止　釜山鎭東萊間の朝鮮瓦斯電氣株式會社輕便鐵道は六日夜來の降雨にて洗亭橋流失せる外線路四五箇所破壞せる爲め電車の運轉を中止せるが夕刻より開通するに至るべし

▲對馬丸と乘客　七日朝釜山着聯絡船對馬丸は列車延著せる爲め乘客の移乘を待たずして解纜せり（釜山電話）

京仁荒しの賊

東京本所區中之郷八軒町生れの住所不定の山中好三（二七）は六月十日頃門司市白木崎セメント會社舍宅鈴木某方より衣類三點を竊取し十五圓に入質して旅費となして釜山に渡り七月十日釜山西町福田酒店に奉公中賣掛代金六圓餘を橫領して旅費となし翌十一日仁川に到著し濱町中津屋旅館に止宿中同宿人なる望月某の衣類雜品を竊取して六圓餘に入質したる上同月十七日龍山二村洞の漢江河原にて廣州郡居住の川崎某が水泳中脫ぎある衣類を攫つ逃し其翌日は龍山電車終點車庫にて電車切符五帖を竊取し同月二十三日午後二時頃には古市町鐵道官舍居住の車掌二宮某方に忍び入り衣類雜品二十五點（十三圓）を竊取し是等贓品は何れも龍山榮町居住の古物商新潟縣岩船郡猿澤村生れの松田榮之吉（三六）に賣却して京城市中を徘徊中本町警察署の手に捕へられ兩名共取調べの上檢事局へ送らる

厭世の結果自殺を企つ

去る五日午前七時半頃京義線黃州驛前旅館增賀屋事豊永ます方へ年頃三十才位の內地人男暫時休憩し居る間に件の男は草菓の皮剝用として出したる同旅館の刺身庖丁を携へ窃かに同家前方のポプラ並木の中に入り頸部胸部腹部に各一箇所宛突き刺して重傷を負ひ苦悶し居るを附近のもの發見して大騷ぎと爲り黃州署より警官駈付け應急手當を施したるが取調べの結果件の男は以前平壤の某所に勤務しゐたる秋山清平（三九）といふもの判明取敢へず平壤慈惠醫院に送りて加療中なるが原因は多分厭世の結果自殺を企てしものならんと

◎仁川狩獵會　仁川在住の好獵家にて組織され居る仁川狩獵會は會員約五十名を有し居れるが今獵季に於て秋季クレー打ちを開かんと目下其々相談中にて其時日は來る二十三日の秋季皇靈祭の當日午前九時より場所は桃山なる舊守備隊跡とし賞品は三等迄を給し會費は本春の例に依り會員七十五錢會員外一圓五十錢とする筈なりと

◎猩紅熱と大消毒　京城本町警察署にては目下淸潔檢査實施中なるが昨年より今年に亙り猩紅熱患者發生したる家々に就ては此際臨時に大消毒を勵行すべしと

◎忘機吟社例會　忘機吟社例會は來る十日（日曜日）午後二時より大和町曹溪寺にて開會の筈多數詩人の出席を希望すと

◎無門會第二會　參禪辨道の目的を以て去月第一會を開催したる無門會は來る九日午後四時より京城商業會議所樓上に於て第二會を開催し既報の如く洪川禪師著禪海一瀾第一則『明德』に就て後藤瑞巖老師の提唱ある筈にて參禪辨道に志あるものは何人も參聽差支なしと因に禪海一瀾を所有せらるゝ向は下卷を持參せらるべしとの事也

▣有樂館の活動寫眞▣

彌々九月八日午後六時より開館日活會社特選の優秀寫眞を上場し尙自祝の爲當日に限り入場料各等半額

京城本町一丁目（百三十銀行橫）　有樂館　電話二六六番

簾のうち

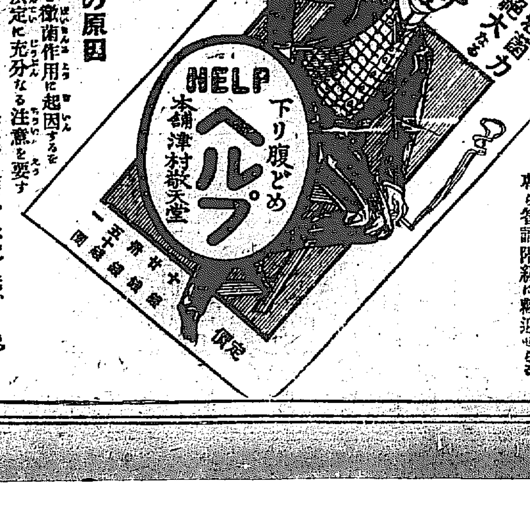
◆聯合淨瑠璃會　◆聯合淨瑠璃會の二日目を聽いた。僕の顏を見た時は兒雀が龍蘇の林で伊右衛門住家を語つてゐた。語り物が四つ谷怪談だけに爽やかに看る雨の夜と妙に調子があつて聽衆はしんみりと聽いてゐた◆次が月の大功記文平の綠だけに大向ふをヤンヤ云はせた。今一と息と思ふ所もあつたがこの人大分語り口に苦心の跡が見える。文平の綠、缺點もあるが斯う捉ると流石に目立つ◆山若の飯原兵衛館は巧者に語つてゐるが聲量足りぬ故か人物引き立たず息使ひ女らしき所あり。上手は上手なれど餘り大過ぎて聽衆を飽かせたやうだ◆紀太夫の赤垣素人の中に掘つて語るのは定めて張合が無いであらう。然し聽衆の立場となつて見れば素人を聽く時と違つて一言一句も聽き洩らすまじと耳の垢もほぢらねばならぬ。赤垣は紀太夫得意の語り物であるか何うか……兎に角同人は當地に足を留めるらう、だから二三度聽いた上で總評を試みる事として今暫らく預つて置く、此者もあり、熱心の溢れた語り振は聽衆に滿足を與へたのは事實である、久し振りの聯合會、折惡しき雨にも關らす非常の盛會であつた

惡疫の流行と下痢止腸胃藥の撰定

▲腸胃の健全なる人が惡疫に傳染せざるは學理の證する所なり

▲故に此際何人も腸胃の健全を主効とするヘルプを服用せよ

▲ヘルプは腸胃病の專門藥にして彼の時流に媚ぶ一時的萬能主義の藥に非ず、此故に從來より專ら智識階級に歡迎せらる



下痢の原因が多く不消化と黴菌作用に起因するを知らば藥劑の撰定に充分なる注意を要す

●然るに從來の賣藥は單純の收斂劑にて消化と殺菌の用意ある物なし

●柏村博士のヘルプは此缺點を考慮配劑せし他に類なき殺菌性下痢止腸胃藥なれば一般下痢に應用して奏効迅速且安全也

是れヘルプの高評を得し所以

グラス萬年筆

朝鮮總代理店（目錄送呈）　京城本町二丁目　釘本藤次郎本店　電話四五〇二七七四　振替京城二五六

特約店　京城本町二丁目　町田商店

性相學

とは人の心の狀態を知り進んで其缺點を矯正する學問である古い人相見や賣卜者のやる事とは全く違ふのである。歐米諸國では既に立派な科學として盛んに研究されて居る最新の學問である

然るに吾國では未だ之れを研究する人が少ないのは實に遺憾の至りである、その失敗を嘆ける人就職難をかこてる人貧に苦しめる人子無きを悲める人病魔に惱める人等不運な人ばかりである。殊に離婚沙汰の多いことは日本が世界一だと云ふことである。然もどうしたら此不運を轉じて幸運となす事が出來るかと云ふ問題に至つては丸で盲目である五里霧中である人世航路の羅針盤である性相學は即ち此の問題に解決を與ふる唯一之學問である、失敗に苦しむ事も不慮の災難に遇ふことも夫婦喧嘩や離婚なんぞも…は絶滅することが出來る實に性相學は社會改善人類救濟の大經綸を目的として性相學は人生必須の學問である而して性相學は通俗的に研究の出來る學問であるが故に誰れでも彼れでも同人となりて大に研究し利用して貰ひたいのである入會希望者は電話でも通知して貰へば何時でも直ぐに入會が出來る會費は壹ヶ年僅か一圓五十錢である會員には會費に相當する雜誌性相を毎月配布する其他會員には種々なる便宜特權を與ふることになつて居る詳しきことは電話で御尋ねて貰へば充分に御話致します

永樂町二丁目交番の北西五軒（電話武貳參番）

性相學會朝鮮支部

女鳩

渡邊默禪

(九八) お炊がはりに

席に復つた平馬は、少時の沈默のうちに苦い顏を見せてゐたが、頓て氣の毒さうに

『いや實に困りました。分らないことばかり言つて……』

『何と被仰いまして?』住江は懸念らしく平馬の面色を窺つた。

『てんで話にならんですよ』爲事なしに鬚をひねりながら『私からいろ〱と利害を說いて聞かせたところが、少しは解つたと見えて放逐するといふことだけは、お父樣のお歸りになるまで待たうと被仰るから、いやそれでこそ秀さまだと讚め立てゝやると、その下から、又た妙なことを言出したんで驚きました』

『へえ、どんな事を』

『そんな心得違ひをするやうな奴は一時間だつて奥には置かれない。第一危險でならんし、皆なの締りにもならぬから、女中頭といふ役を辭いて了つて、直と臺所に退げて、お父樣の御歸邸になるまで謹愼さしてくれ……』

『ね。お臺所に?』目を睜つた。

『……さうして、今まで竹の爲てゐた水仕業―拭掃除から風呂番、洗濯、そんな仕事を爲得られるといふならば、慈善的に置いてやらうと、如何です、こんな慘酷なことを言ふぢやありませんか。私は呆れて返辭が出ませんでしたよ。馬鹿々々しい左樣なことを貴女に向つて言へるものですか。我儘の世間不見には實際困らされて了ひますのう』

いかにも當惑したらしく、額の皺を聚せて言つた。住江はそれを聞くと、いきなり熱湯を灌ぎかけられたかの如く、頭腦から首頸にかけ一時に赫と温つて、我知らずわく〱と渾身が顫ゑた。平馬は自分を睨めつけるやうな眼色の、さつと凄味を帶んで來たのを見て、彼女の激しい怒に襲はれたことを知つた。

『そこで私も堪へかねて無遠慮に言つてやりましたぢや。貴君は人間の見樣を御存知ない、竹のやうな馬だか牛だか分らない女なら知らんこと住江に左樣な力業ができるかどうか考へて御覽なさい。假初にも相應の敎育があり品格もある婦人であつて永年奥向の御用を取仕切つて來た!まア昔ならばお年寄かお使番といふべき格で、長い裲襠を引ずつてゐた住江です。それにお炊同樣の卑しい勞働をさせるといふのは、無鐵砲にも程がある。第一人間を侮辱した話ぢや。それも確かに住江が犯人と極つた譯なら兎に角、本人は立派に辯明をしてゐるし、或ひは外に犯人があつて、その罪を住江に塗りつけたのではないかとの疑ひもあるのに、左樣な慘い仕置を加へるのは、失禮ながら貴女の我儘といふものです。と怒うやつてのけましたぢや。』

和めるつもりで、誇りと同情して言を續けてゐるうちに、膽を衿につけて凝然と考へてゐた住江の顏は、次第に柔ぎかゝつて來て、瞼の陰に一杯の泪をよどませてゐた。

『で、相談ぢやが、どんなもんでせう、住江さん。とにかあれ箇樣な分らず屋連中を相手にして、爭つて見たところが、大人氣ないことぢやによつて、一先づ宿元にといつた所で東京には實家も親戚もないお前のことぢやから、一時懇意な家へでも退つてゐなさるやうなことにしては……その內にはお二方も地方からお歸りぢやらうし、私も嚴重に穿鑿して眞の犯人を擧げてやることに、充分骨を折りますぢやで、どうか左樣なことに。』

と、住江はほろりと雫を飜して

『いゑ、それだけは御免を蒙りたうございます。竹の代りにお臺所と風呂場の仕事をせいと被仰るなら、能きませぬまでも一生懸命にやつて見ることに致しますから、どうぞお慈悲に此儘お邸へお置きなすつて下さいまし。』

『ねツ、おやりなさる?!。』平馬は愕いた。『眞實おやりになる氣か。』

『はい、致します。』

住江は手を突いたなりに泣伏した。

冬ノ仕度ハ先ヅ銘仙カラ
冬物自慢之珍柄 全部品揃
秩父 ちゝぶや

新刊紹介

▲文藝俱樂部(九月號) 上司小劍の『戀の繩』小栗風葉の『外小說三篇石田寅彥の『生島新五郞』帝劇九月脚本)を初め好讀物多く演藝界花柳界等の雜殺欄に至つては本誌獨特の妙味溢れたり(博文館發行)

▲婦女界(夫婦共稼號) 夫婦共稼は幸か不幸か『都河龍減い趣味の夫婦共稼』鳩山春子』良人の內助と夫婦共稼『珊瑚狗子』夫婦共稼の利害得失に關する七婦人の痛切なる經驗談等を初め取り易き安價生活法、家庭で出來る西洋洗濯法、日搬を直す方法、其他育兒、經濟、料理、裁縫、生花等初秋に於ける主婦必讀の記事を滿載す(十七錢東京牛込婦女界社)

▲經濟資料(二の五) 卷頭『戰爭の鐵道に及したる影響』は五十頁に亘る同局苦心の調査にして其他北滿中央試驗所設立の必要、滿洲對外貿易發展策、露國市場と外國商人の取引、有望なる支那の石炭、蘭領印度拓殖銀行等有益なる資料を揭ぐ(非賣品東京丸の內滿鐵東亞經濟調査局)

▲朝鮮寫眞畫報(咸鏡北道號) 鏡城、羅南、城津、淸津等の市街を初め奇勝には白頭山の大湖水と豆滿江、豆滿江畔、間島富士等あり古跡には淸正の二王子を生擒せし會寧、金石文、白頭山の定界碑等と其他風俗、商物等國境地方の情趣を味ふべし猶卷尾に同地方の產業要覽、情勢一班等を附す(三十五錢京城大和町一の四八朝鮮寫眞畫報社)

▲海外(九月號) 在外貿易通信欄は本誌獨特の海外實情紹介欄にして猶操奨多數名士の海外發展に關する各種の參考となるべき記事を收めたり(十六錢東京市麴町區五の三其社)

◎食料品博覽會 會長小松伯、大倉男、其他有位有爵の貴族並に現代名士十數名を幹部に推擧し名古屋市に開催したる國產食料品博覽會の盛況なりしは當時一般世人の熟知する所なるが同會主催者は同會の效果の大ならしむる目的を以て來る十月二十八日より第二回國產食料品博覽會を開催して會前會後の斯界現況を照査し以て將來に於ける斯界改良促進の途を具體的に提示する等にて目下前回に劣らざる名望家を役員に推擧すべく畫策中なり因に出品希望者は名古屋市中區南小川町第二回國產食料品博覽會事務所へ會則を請求すべしと

讀者の聲

▲湯錢のみに限らず不當なる諸物價の硏究は大いに贊成だ一寸數へても大分ある家賃理髮料雜貨古本蕎麥東價などはその例だ何れも昔々中以下の階級には痛切に感ずるものばかりである諸君と共に大に硏究したいものである(中以下生)▲一移民君の殖民地なるが故に物價の高いのは當り前だといふ考へは間違つてるといふは確に其通りである今日の樣に交通も開け居る住に何等の危險も不快もなくなつたのに物を高く賣る理由はない殖民地といふ處は暴利を貪つてよい處と考へて居るのは心得違であるこんな不心得者が居つては日本の大陸發展は出來やせぬ(大和民族)▲朝鮮は雨の少ないのが取り柄であるのに此頃の樣に雨が多くなつては不愉快で堪らぬ(紙張子)▲此頃空家へ這入つて瓦斯用の鉛管を盜む者が多くなつた借家持は注意せよ(被害者)▲湯錢が高い安いは末の問題である先づ京城で一番割の高いのは家賃だ之れから第一に引き下げをやらねばなるまい借家連中の大會を開かうではないか賛成者はなきか(借家總代)▲近頃ふろ賃の爲め新聞紙上にて爭論をして居るが君等は隨分常識のない頭だ朝鮮は所謂殖民地にはふろ賃のみならずとやでも總べての物價が高いから特にふろ賃が高いとは云へぬ此の後又ふろ賃の爲め爭論でもする樣であれば內地へ追返すぞ(やんばんさらみ)▲日本人理髮屋の理髮代が高値の爲めか近頃支那人の理髮屋へ日本人が澤山行つて居る日本人の理髮屋諸君今少し理髮代を値下して支那人や朝鮮人も御客に取る樣にしてはドーカね(寒心注意生)

西洋料理 アイスクリム、ハイカラ丼 おいしい事京城第一との高評を博し居り候 南大門通 電話二五七一番 カフエータイガー

大阪期米(七日)

寄付 當限 [illegible] 中限 [illegible] 先限 [illegible]
高値 三三、九七 一四、五三 一四、九二
安値 一三、九三 [illegible] 一四、八三

▲依然保合 大阪は一時喘れ [illegible]
と同時に寄付八錢と抜けて動かず週節軒付きたるが四節 [illegible] 五錢と押したるも七錢と返して不動保合の儘散會

▲後場の手振 重なる兩內買方⊖六千餘石⊜五千餘石(⊕⊕各二千餘石⊕千餘石等に對し買方へ六千餘石⊜三千餘石⊛⊖各二千餘石⊜⊕各千餘 [illegible]

▲人能く買ふ 上げたるとの事一⊜二千餘石の壁上りたるとの事 [illegible]

▲三蠶の買 [illegible]

▲後場中限⊖十三圓×五錢⊖ノ五錢出來 高千石 ▲先限⊖十二圓七十六錢⊖十七錢⊜七十七錢 八錢⊜七十七錢八錢七錢六錢五錢六錢七錢

七日の十一月限 [illegible]

平均値段 一節 二節 三節 四節
九月八日 十七圓七十六錢 十七圓七十七錢 十七圓七十八錢 十七圓七十七錢

●不良少年のお灸 仁川花町一丁目居住の鮮人金斗甲(一三)と云ふは黃海 [illegible] の結果前記の犯罪外に市內各所にて小泥棒を働きたる事判明し六日懲役一年に處せられたり(仁川)

美味ヲ以テ好評アル
林檎と梨
朝鮮鳥致院
弘益殖產株式會社農場
振替京城一〇六番 電話鳥致院六番

消化と毒けし
仁丹
惡疫流行
今のむ仁丹 値ちち千兩
金言
美服は價値なき人の肩に於て泣く(佛國俚諺)

何より安心
秋は食物の御撰擇が肝心
是さへあれば健康は保證
森永ミルクキヤラメル
煙草代用
ポケツト用大十錢小五錢
當會社特設の化學試驗部に於ては 藥學博士丹波敬三氏 醫學博士岡田泰吉氏 兩顧問の選定せられたる專任技師數名顧問指導の下に日日使用する原料を檢定して品質の統一を期す
5—14 森永製菓株式會社

タシカニコレが一番だ
ナイス
ナル程よい……ご
一度染てわかる
理想的シラガ赤毛染ナイス
登錄商標 白毛赤毛染 ナイス
五大特長
■タッタ二十分で染る。
■自然の色澤に染る。
■一度染て永く保ち。
■襟、枕に汚染せず。
■用法至極簡易也。
價 大瓶 金七十錢 小瓶 金四十錢 新小瓶 金三十錢 全國各藥店にあり
發賣元 大阪東京 丹平商會藥房

山田醫院 本町二丁目四十五 電話二八八〇番
內科 小兒科 花柳病科 眼科
呼吸器病 胃腸病 專門 山田萬作
(入院隨時) 尾形周太郎

新荷著 スイツル製 懷中時計
機械堅牢示針正確體裁優美然も實用的にして價格の低廉なる常天下無比

十七形 ニッケル(兩蓋) 四圓五十錢
同 同 十五圓二十錢
十八形 同 ラヂユーム日躍 十二圓五十錢
十一形 銀側 十六圓廿錢
十九形 同 十七圓八十錢
十六形 金メッキ形刻(兩蓋) 四圓二十錢
十一形 珠瑯側水色 五圓六十錢
十九形 金 バリ(十年保險) 十圓八十錢
十八形 同(同) 二十圓
同 同(同) 二十一圓五十錢
▼腕時計
十二形 ニッケル側 五圓三十錢
十三形 同 十圓五十錢
同 同 九圓二十錢
同 同(ラヂユーム入) 八圓二十錢
同 銀側 十圓二十錢
アメリカ製十四金ペン付萬年筆 一圓八十錢
同 二圓八十錢
同 三圓二十錢
同 五圓八十錢
同 七圓五十錢
同 九圓

右は今回新着の商品にて本商會獨り之を有し他店には無き所のもの伏して願はくば急速御用命被仰度候尙地方遠隔の御注文に對しては代金引換小包郵便にて御送附申上候
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒、各國莨 直輸入商
イングレツシー商會
本店 京城本町二丁目 電話九七二番

大邱浦項間自動車 發著時間
上り 浦項發 一番 前六、三〇 二番 後〇、三〇
安康同 七、三〇 一、三〇
慶州同 八、二〇 二、二〇
阿火同 九、〇〇 三、〇〇
永川同 九、五〇 四、〇〇
河陽同 一〇、四〇 五、一〇
大邱著 一一、四〇 六、〇〇
下り 大邱發 一番 前六、三〇 二番 後一、三〇
河陽同 七、四〇 二、四〇
永川同 八、三〇 三、四〇
阿火同 九、三〇 四、三〇
慶州同 一〇、三〇 五、三〇
安康同 一一、二〇 六、二〇
浦項著 一二、三〇 七、三〇
大塚農場自動車部 大邱出張所 電話一一七番

金泉醴泉間自動車 發著時間
上り 一番 二番 下り 一番 二番
金泉發 前八、〇〇 後二、〇〇 醴泉發 前八、〇〇 後二、〇〇
開寧發 九、三〇 三、三〇 尙州發 九、三〇 三、三〇
咸昌發 一〇、一〇 四、一〇 咸昌發 一〇、一〇 四、一〇
尙州發 一〇、五〇 四、五〇 開寧發 一〇、五〇 四、五〇
醴泉著 一二、〇〇 六、〇〇 金泉著 一二、〇〇 六、〇〇
▲小荷物運搬仕り候
金泉織居自動車支部 金泉電話四八番

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 九月八日後四時入 九月十日前九時出
朝鮮總督府命令船 第三共同丸 朝鮮鐵道主要驛にて積客運賃通算取扱仕候 大連にては靑島行定期船接續輸送並に共通航路と同類運賃にて通し輸送取扱可仕候
○城津、淸津、浦鹽行(元山出帆) 第一阪鶴丸 月 日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸 元山出帆 月 日前八時出
阿波國共同汽船株式會社 仁川代理店 本町一丁目 電話一〇八番 山下回漕部
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 南大門 電話二六八・二〇七 河村運送店

汽船釜山出帆廣告
門司、神戶、大阪行 ○神丸 月 日後五時出帆
○立山、淸津、浦鹽行 ○神丸 月 日後十時出帆
○元山、城津、浦鹽行 ○立神丸 月 日後十時出帆
○小倉丸 元山、西湖、新浦、城津、淸津行 月 日後六時出帆
○第三琴平丸 門司、宇品、神戶、大阪行 月 日後六時出帆
○第三琴平丸 住須奈、嚴原、壹岐、博多行 毎月二日九日十四日廿一日廿六日(十二)午後十時出帆
○天興丸
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

大阪商船仁川出帆
○外航所屬航路を除く朝鮮沿岸航路各航の時は五分間前を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行 須磨丸 九月八日
安東丸 九月十八日 後五時出
大智丸 九月十四日
○木浦、釜山、鎭原、鄉の浦、長崎行 信濃川丸 九月十二日 後二時出
○群山、釜山、橫濱行 湖州丸 九月十三日 後二時出
福州丸 九月廿九日
○木浦、釜山、關門、神戶、大阪行 天智丸 九月十二日 後二時出
○鎭南浦、大連行 信濃川丸 九月廿七日 後二時出
六連直行 潮州丸 九月九日 正午出帆
○鎭南浦、龍岩浦、安東縣行 福州丸 九月廿二日
○濟州、浦潮行(元山出帆) 漳州丸 九月九日 正午出帆
○印一、城津西湖津二寄港浦潮不寄港 安平丸 九月廿二日 後二時出
宮島丸 九月廿四日
○上海、基隆、打狗行(大連出帆) 基隆丸 九月十三日 後四時出
湖北丸 後六時出
御注意 ●朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道との聯絡切符發賣仕候 ●連絡切符發賣仕時間は船舶到着每に(二)時間前(但前日又は第三種)發賣は午後九時迄 ●△印は貨物のみ積取
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二番・三番 內國通運會社支店 電話六五番
京城切符發賣所
●中國四國沿岸各港行旅客に對し連絡切符發賣仕候

朝鮮郵船 仁川出帆
本社 京城 電話長一九五二番 二一三二番
鐵道會社及社外船と貨客運輸連絡の便あり詳細は支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會あれ
京城取次店 京城市大門驛前 松原運送店(電話長一七〇番)
○全羅丸 九月九日
○京畿丸 九月九日
○黃海丸 九月十三日
○咸鏡丸 九月廿三日 釜山發 門司より釜山各港寄港雄基間航路
○穩城丸 九月十日
○昌平丸 九月八日
○鏡城丸 九月十四日 元山より各港經由雄基行 元山發
○忠淸丸 九月十五日
○平壤丸 九月八日 城津淸津浦鹽行便航釜山より門司又は長崎行 元山發
○永興丸 北久味、五里浦行 每月廿八回 元山發
○咸德丸 甘浦、九龍里、浦項各港寄港鬱陵島行 九月八日 釜山發
○江陵丸 ○咸陽丸 長生浦方魚津寄港 每日 浦項 釜山發
○三浦丸 長承浦、鎭水、巨文島濟州島各寄港 九月十二日 釜山發
○海州丸 ○統營丸 各港經由麗水行 ○巨濟丸 ○慶寶丸 (三日目一回水浦行) 每日 釜山發
○順天丸 各港經由麗水行、麗水より釜山行に接續 三日目每二 木浦發
○慶興丸 各港經由濟州島行西廻 九月十三日 木浦發
○慶興丸 市多島海列島行、月三回 九月十一日 木浦發
○公州丸 各港經由濟州島行(東廻) 九月八日 木浦發
○宗信丸 海州他各港經由、德洞又は白翎島行 九月十二日 仁川發
○江原丸 海州、大連、芝罘行 九月十五日 仁川發

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
○君が代丸 九月八日後四時出帆
○大有丸 九月十八日後四時出帆
○神代丸 九月十四日後四時出帆
○秀吉丸 九月十一日後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行
相模丸 九月七日 正午出帆
高砂丸 九月十七日 正午出帆
三河丸 九月廿八日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部